

公立大学法人広島市立大学の概要

2 0 2 1 年 6 月

公 立 大 学 法 人

広 島 市 立 大 学

目 次

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念	1
(2) 沿革	1
(3) 運営組織	(2021年4月1日時点)	2
(4) 学部、大学院、附置研究所の概要	(2021年4月1日時点)	3
(5) 附属施設の概要(概要)	(2021年4月1日時点)	7
	(利用状況) (2020年度)	7
(6) 施設	(2021年4月1日時点)	9
(7) 学年暦	(2021年度)	11
(8) 教職員数(2021年度)	(2021年5月1日時点)	12
	(2020年度) (2020年5月1日時点)	13
(9) 学生数	(2020年5月1日時点)	14
(10) 研究生・留学生等	(2020年度)	14
(11) 入学検定料、入学料、授業料等	(2021年4月1日時点)	15

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー	16
(2) 特色ある講義科目	(2021年度)	39
(3) 外部資金の獲得状況	(2016年度～2020年度)	42
(4) 科学研究費補助金の内訳	(2020年度)	43
(5) 研究開発費助成制度等の採択状況	(2011年度～2020年度)	48
(6) FD・SD活動実施状況	(2020年度)	54

3 入学者選抜

(1) 入学者選抜の概要(学部)	(2022年度入試)	56
	(大学院) (2022年度入試)	57
(2) 入学者選抜実施状況	(2021年度入試)	58
(3) 年次別競争率等	(2012年度～2021年度入試)	60
(4) 入学者の状況(出身都道府県別内訳(学部))	(2017年度～2021年度)	61
(5) 社会人入試(大学院)の状況(募集人員等)	(2021年度入試)	62
	(入学者数) (2016年度～2020年度)	63

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況	(2020年度)	64
-------------	----------------	----

目 次

5 就職

(1) 就職・進学等			
ア 学部別の状況	(2020年度)	68
イ 就職率の推移	(2011年度～2020年度)	69
(2) 就職先の構成比			
ア 業種別	(2020年度卒)	70
イ 地域別	(2020年度卒)	71
(3) 就職先企業等一覧	(2020年度)	72

6 社会連携

(1) 産学官連携			
ア 推進体制	(2021年4月1日時点)	76
イ 研究・事業等の実施状況	(2011年度～2020年度)	76
(2) 地域連携			
ア 公開講座	(2020年度)	79
イ その他の事業	(2020年度)	84
ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況	(2020年度)	85
(3) 高大連携			
ア 教育ネットワーク中国における高大連携	(2020年度)	89
イ 広島市教育委員会との高大連携講座	(2020年度)	89
ウ 高校での模擬授業の開催	(2020年度)	90
(4) その他の連携	(2021年4月1日時点)	91

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校	(2021年4月1日時点)	93
(2) 国際交流事業実績	(2020年度)	93
(3) オンラインプログラムの実績	(2020年度)	94

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」

(2) 沿革

- 1989年11月 広島市立大学（仮称）設立準備委員会を設置
- 1991年7月 「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
- 1992年11月 校舎建設工事起工式
- 1993年12月 文部省設置認可
- 1994年4月 開学
- 1996年10月 講堂完成
- 1998年4月 大学院修士課程開設。広島平和研究所（中区）を設置
- 2000年3月 情報科学部棟別館完成
- 2000年4月 大学院博士後期課程開設
- 2003年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 2003年4月 情報科学部情報数理学科、大学院情報科学研究科博士前期課程情報数理学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更
- 2007年4月 情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編（2007年度入学生より）
大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編（2007年度入学生より）
- 2007年7月 社会連携センターを設置
- 2010年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 2012年4月 情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の4学科に再編（2012年度入学生より）
- 2013年4月 大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編（2013年度入学生より）
国際交流推進センターを設置
- 2013年10月 サテライトキャンパス（中区）を開設
- 2014年4月 キャリアセンターを設置
- 2016年4月 大学院情報科学研究科博士前期課程創造科学専攻を医用情報科学専攻に名称変更（2016年度入学生より）
- 2016年10月 COC+宮島教育研究施設（サテライトハウス宮島）を開設（2020年3月閉所）
- 2018年4月 国際学生寮「さくら」を開寮
- 2019年4月 大学院平和学研究科（修士課程）を開設
- 2021年4月 大学院平和学研究科（博士後期課程）を開設

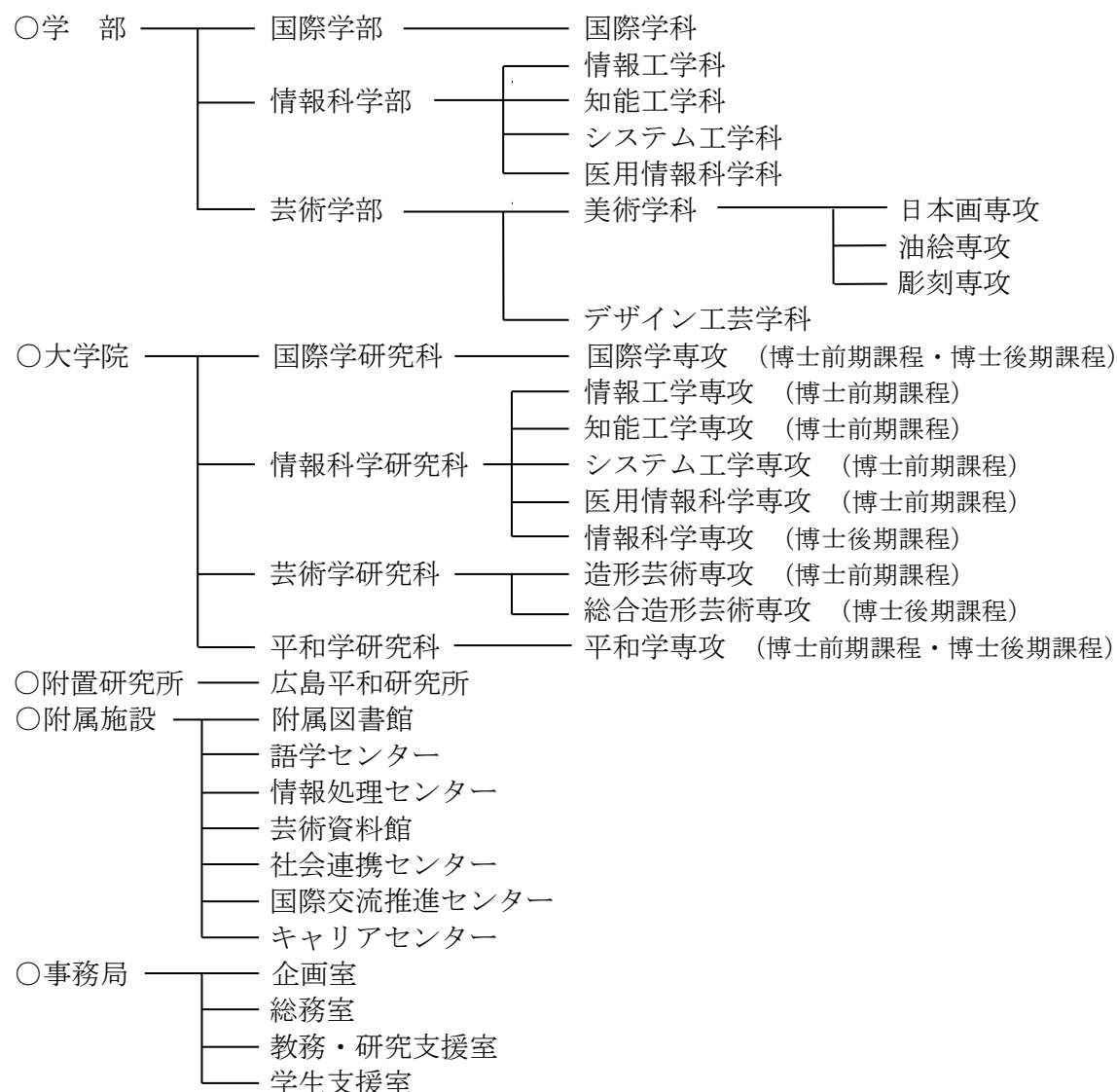
(3) 運営組織 (2021年4月1日時点)

ア 公立大学法人広島市立大学の概要

- ・ 所在地
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
- ・ 設立年月日
2010年4月1日
- ・ 資本金
155億1,019万1,000円
(広島市出資額 155億1,019万1,000円 出資割合100%)
- ・ 役員

役職名	氏名	備考
理事長	若林 真一	学長
理事 (企画・戦略担当)	石田 賢治	副学長 (企画・戦略担当)
理事 (教育・研究担当)	渡辺 智恵	副学長 (教育・研究担当)
理事 (総務・危機管理担当)	天野 博司	事務局長
理事 (非常勤)	岡谷 義則	(株)中国新聞社特別顧問
理事 (非常勤)	秋山 伸隆	県立広島大学名誉教授
監事 (非常勤)	大本 和則	弁護士
監事 (非常勤)	吉中 邦彦	公認会計士

イ 構成図



(4) 学部、大学院、附置研究所の概要（2021年4月1日時点）

ア 学部／大学院

(7) 国際学部／大学院国際学研究科

a 教育方針

(a) 国際学部：

国際学部は、異質で多様な知識を、単なる情報としてではなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知として身に付け、世界各地の違いのあり方を尊重し、共生の必要性を理解できる国際的な感覚を備えた人材を育成することを目的としている。真の国際人を目指し、5つのプログラム（「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「国際ビジネス」、「言語・コミュニケーション」）を柱とした学際的なカリキュラムを設け、学生の関心や将来目的に応じた多様な履修形態を可能にするとともに、学生同士や教員としっかりとした議論ができるように、少人数による演習科目を重視している。

(b) 大学院国際学研究科：

博士前期課程においては、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な真の国際人の養成と、高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育・研究者の育成を目指している。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応じて、国際社会の文化、政治、経済、教育、科学、産業等、さまざまな分野において指導的役割を果たしうる高度な専門職業人及び高度で先端的な学際的研究に携わる能力を備えた教育・研究者の育成を目指している。

b 研究活動状況

学際的な学術研究やコロキウム形式による国際的な研究交流活動などを行っている。その研究成果を学術書の公刊や国内外の学会、シンポジウム等において研究発表するとともに、公開講演会、公開講座を通して地域社会への還元を行っている。

また、2002年度より、本学部教員が独自に開発したコンピュータ・ネットワークによる英語集中教育プログラム（※注）を正規の英語科目として導入したほか、本プログラムを本市の生涯学習施設が主催するリカレント教育事業の一環として取り入れるとともに、公民館等でも市民向けの講座を開催している。

※注：英語の語学力のうち、主に「聞く」「読む」の2技能をより高い水準に向上させることを目的に、コンピュータ・ネットワークを利用して英語学習を実施するもので、将来的にはインターネットによる受講により市民を対象とした在宅での英語の授業実施を目指している。

(1) 情報科学部／大学院情報科学研究科

a 教育方針

(a) 情報科学部：

情報科学を統合する視点に立って、理論的な基礎や情報メディアからコンピュータ、人工知能、ヒューマンインタフェース及びこれらを統合したロボットなどの各種システムに至るまで、幅広く情報科学に関する専門的な教育研究を行っている。

また、高速のキャンパス情報ネットワークと多数のコンピュータを活用し、電子メールや掲示板などによる学生相互の情報交換やレポート提出、インターネット上に公開されている情報の調査や調査研究結果の公表など、知的生産のためにコンピュータを道具として有効活用できる人材を育成している。

さらに、21世紀の知的社会で、問題解決ができる人材を育成するため、実践、実習、演習、口頭発表などの体験的・総合的学習を重視した教育プログラムや、論理的思考の訓練や発表・表現の手段としての言語（日本語、英語及びコンピュータ言語など）の教育訓練プログラムを実施している。

(b) 大学院情報科学研究科：

博士前期課程においては、情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者及び高度専門技術者を養成することを目的とし、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータ&ネットワークを創生する能力 ②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理及びシステム化する能力 ③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力 ④情報、自然科学、工学の3分野を医用情報科学分野の基礎と位置付け体系化し、それらを実践的に応用展開する能力 ⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材の養成を行っている。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応え、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目的とし、①高度な専門知識と幅広い識見、実践力を持つ研究者・技術者 ②先端的な科学技術に柔軟に対応し、均衡のとれた学識と感性を持って後進を指導できる教育者 ③高度な科学技術を広く社会に還元し、地域の活性化に資する人材 ④自主的課題発掘能力、実践的課題解決能力、高度な研究開発能力を備えた人材の養成を行っている。

b 研究活動状況

多岐にわたる情報科学の研究分野において、高度で先端的な学術研究を行っており、特に他大学・企業との人的交流、受託研究、共同研究を実施しながら多様かつ柔軟な研究活動を実施している。

産学官連携への取り組みも積極的に実施しており、本学の産学官連携推進活動の中核として、多様な研究活動を推進しているほか、地域産業界を対象とした研究公開など、積極的な情報発信を行っている。

(ウ) 芸術学部／大学院芸術学研究科

a 教育方針

(a) 芸術学部：

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと習得し、多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際社会でもアートを通じて活躍できる能力を育むことを目指している。

このため、自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の習得を重視した教育を行うとともに、独自の表現方法と出会えるよう過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる多角的かつ総合的な教育を行っている。また、地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を学び、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供している。

さらに、単科大学が多い芸術系大学の中で3学部構成という特色を生かし、国際的な視野の下に教育・研究を推進するため、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行っている。

(b) 大学院芸術学研究科：

芸術創造活動を自ら行う芸術家、研究者の養成と、地域文化振興のための人材養成を目指し教育・研究を行っている。また、各研究分野の内容を深化させるとともに、各領域を横断する研究や理論的研究など、より深く総合的な教育・研究を行っている。前期、後期課程とも、複数の専攻に分割する構成をとらず、造形芸術専攻、総合造形芸術専攻の各1専攻とし、一貫した教育体制を整え、以下の内容の高度な教育・研究を実践している。

- ・ 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究
- ・ 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究
- ・ 理論の習熟を基にした創作を探求し、創造、表現及びその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究
- ・ 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究

b 研究活動状況

地域の美術文化及び産業の振興・発展に多様な形で貢献に努めるため、地域とともに歩む大学として専門分野に関わる諸活動に参画し、作品制作に関わる研究や実技指導、展覧会の審査委員等の活動を幅広く行っている。

特に、地域団体との協力による文化イベントの開催は、高い評価を得ている。

(I) 大学院平和学研究科

a 教育方針

平和学研究科は、国際紛争及びグローバル問題の背景・要因を分析する手法を修得するとともに、平和創造及び平和維持に貢献する能力を身に付けるための教育課程を通じ、国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる人材の養成を行っている。

b 研究活動内容

国際政治学や国際法学を中心とした平和理論関連カリキュラムとアジア、特に東アジアの地域研究関連科目を中心としたカリキュラムの学習を通して、現代アジアの国際関係の構造及び政治・ガバナンスの基本構造と、人間の安全保障との関係を洞察できる能力を養うとともに、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案する能力を修得させることを目指している。

イ 広島平和研究所

(7) 研究方針

- ・世界で最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指す。
- ・国内外における平和研究機関と積極的に連携してネットワークを構築することにより、平和研究の発展に寄与するとともに、学術研究の成果を社会に積極的に公開する。

(イ) 研究活動状況

「核」に関する諸問題の研究、「平和」に関する理論的及び実証的研究並びに東アジアの平和に関する研究を主な研究領域として、国際社会に通用する高度な水準の学術研究を実施している。

・研究成果の公開

市民を対象とした国際シンポジウムの開催、紀要（ジャーナル）及びニューズレターの発行やホームページの運営等により研究成果の地域社会への還元に努めている。また、時宜に応じたテーマで講師を招き意見交換する「HP I 研究フォーラム」を開催するとともに、平和に関するさまざまな問題について講義形式により共に学ぶ機会を市民に提供する「連続市民講座」を実施している。

(5) 附属施設の概要 (2020 年度実績)

ア 附属図書館

図書約 34 万冊 (年間受入数約 5,000 冊)、雑誌約 370 誌、視聴覚資料約 1,900 タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディに手に入れることができる。館内には LAN 環境が整備されており、Web 情報や所蔵資料を活用しながら学習もできる。自然光を取り入れた、気持ちの安らぐ空間設計も特徴。

○ 利用状況

2020 年度 入館者数 19,325 名 (91 名/日)

図書貸出 13,905 冊 (65 冊/日)、5,255 名 (25 名/日)

コロナ禍の中、2020 年度は図書の郵送貸出、電子書籍利用の PR 等の非来館型サービスに力を入れたが、入館者数、図書貸出数ともに 2019 年度より少なかった。

イ 語学センター

各教室に CALL (コンピュータ支援による言語学習) システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、e ラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL 英語集中」や「e ラーニング英語」の教室としても利用されている。

自習室では、約 2,600 点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK 語学講座のテキストや CD が利用可能である。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気です留学生と母国語を教え合ったり会話練習をしたりする「ランゲージチューター」プログラムも行われている。

○ 利用状況

2020 年度 自習室の利用者数 2,713 名 (13.4 名/日)

〈内訳〉自習者 (その他含む) 2,541 名

CALL 英語集中・e ラーニング英語受講者 172 名

休館期間： 5 月 7 日から 6 月 26 日

ウ 情報処理センター

高性能なネットワーク機器を備え、利便性に優れた情報通信サービスを提供している。実習室にはパソコンを約 160 台設置し、一般情報処理科目の実施や自習スペースとして活用されている。

教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できる。

また、学内各所で無線 LAN を整備しているほか、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備の技術支援、履修登録や成績確認を行うことができる大学情報サービスシステムの運用管理の支援など、学内のさまざまなネットワークサービス支援を行っている。

○ 利用状況

2020 年度	実習室の学内利用者数(講義含む)	3,660 名 (17 名/日)
	実習室の学外利用者数	0 名
	自宅等からの仮想環境利用者数	47,771 名 (1,327 名/日)

(※実習室等には情報科学部演習室・図書館貸出デスクトップを含む)

エ 芸術資料館

本館は、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約 1,300 点を保存している。世界の有名なデザイナーズチェアは約 70 点と、まとまった数を収蔵している。そして、大学の教育成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の作品の収集を行ってきた。

展示室では、企画展や学部・大学院の研究発表展を随時開催している。また、国内外の美術館や美術展への作品貸出を実施し、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開している。

本年度は、新型コロナウイルスの流行により、入場者数、収蔵作品貸出美術展数共に昨年度より減った。

○ 入場者数

2020 年度	2,346 名
---------	---------

○ 収蔵作品貸出美術展数

2020 年度	0 件 (美術展等への収蔵作品写真の提供は 2 件)
---------	----------------------------

(6) 施設 (2021年4月1日時点)

ア 校地面積等

面積 (未取得の面積を含む)	取得費 (未取得分を除く)
総面積 30万2,432㎡	総額 135億5,126万円

イ 建物

施設名	建設工事費
総延床面積 7万9,830㎡	
[内訳]	
・本部棟 (RC造2F)	1,822㎡
・国際学部棟・講義棟 (SRC一部S造7F)	1万2,085㎡
・情報科学部棟・情報処理センター (SRC一部S造8F)	1万8,912㎡
・情報科学部棟別館 (SRC一部S造6F)	5,892㎡
・芸術学部棟・芸術資料館・第一工房棟 (SRC一部S造6F)	1万4,086㎡
・第二工房棟 (S造2F)	489㎡
・第三工房棟 (S造2F)	975㎡
・第四工房棟 (S一部RC造1BF2F)	1,277㎡
・図書館・語学センター (RC造4F)	6,310㎡
・講堂 (RC一部S造2F)	2,543㎡
・体育館 (RC一部S造2F)	3,100㎡
・クラブハウス (RC造2F)	400㎡
・第2クラブハウス (軽量鉄骨造1F)	105㎡
・第3クラブハウス (軽量鉄骨造1F)	105㎡
・トラック&フィールド倉庫 (RC一部S造1F)	118㎡
・学生寮もみじ (RC造3F)	2,874㎡
・国際学生寮さくら (RC造6F)	2,830㎡
・学生会館 (RC造2F)	2,542㎡
・特殊排水処理施設 (RC造1F)	106㎡
・エネルギーセンター (RC造1F)	1,002㎡
・その他 (コリドール、駐輪場、公用車車庫)	2,257㎡
	総額 329億6,863万円

※ 第3クラブハウスについてはリース物件であり、建設工事費には含まない。

ウ 屋外

トラック&フィールド

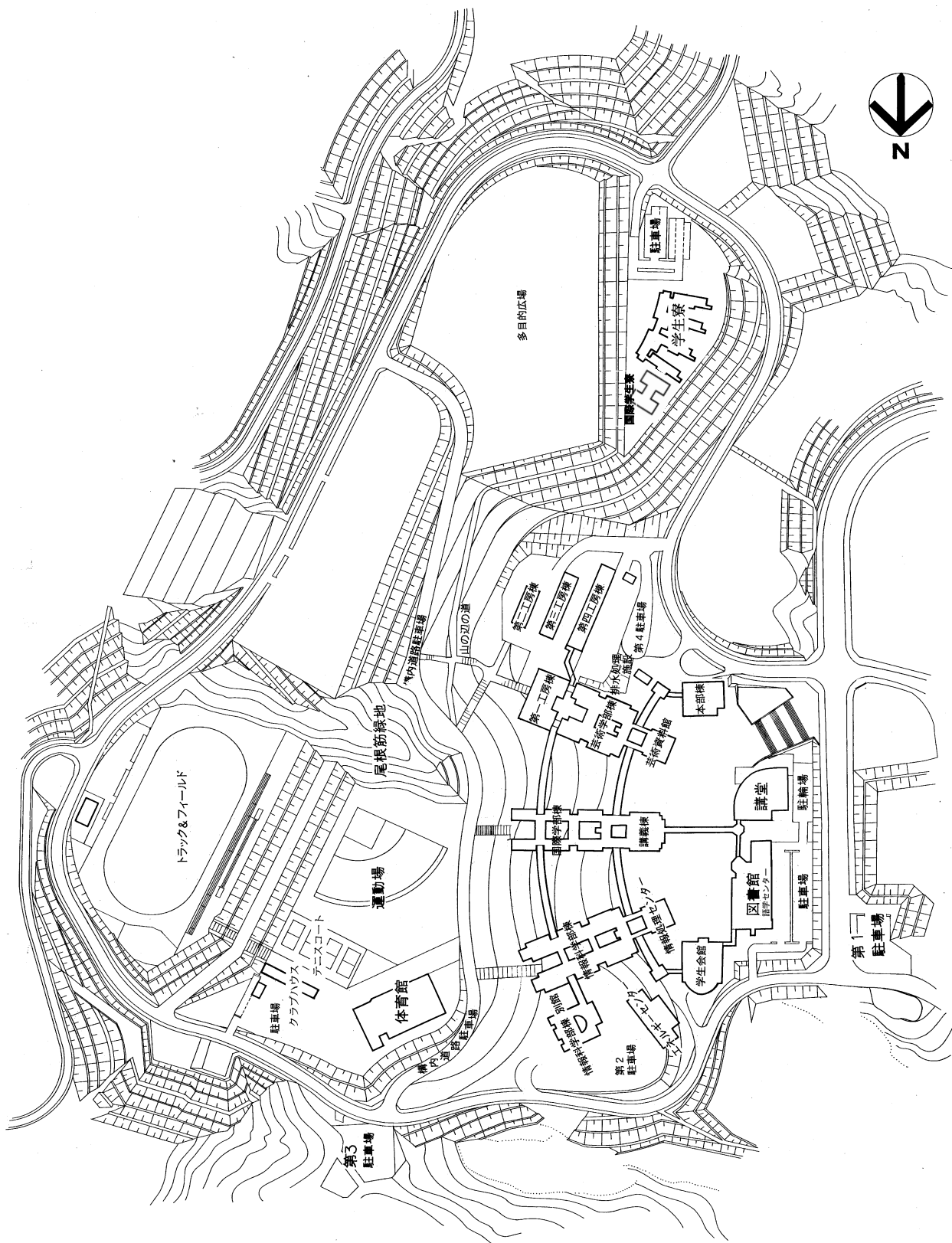
運動場

全天候型テニスコート (4面)

駐車場 (約796台)

駐輪場 (約350台)

工 施設配置図



施設配置図

(7) 学年暦 (2021年度)

前期 (4月1日～9月30日)

第1ターム (4/8/9)	4月1日 (木) ～7日 (水)	春季休業
	4月2日 (金)	春季入学式
	4月2日 (金) ～7日 (水)	オリエンテーション
	4月2日 (金) ～7日 (水)	定期健康診断
	4月2日 (金) ～21日 (水)	前期履修手続期間
	4月8日 (木)	前期授業開始
	4月30日 (金)	全学休業日
	5月20日 (木) ～6月2日 (水)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	6月3日 (木) ～6月9日 (水)	第1ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う。)
第2ターム (6/10/12)	6月14日 (月)	開学記念日 (授業実施)
	7月15日 (木) ～7月29日 (木)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	7月23日 (金・スポーツの日)	金曜日の授業実施
	7月30日 (金) ～8月12日 (木)	前期定期試験
	8月6日 (金)	平和記念日 (全学休業日)
	8月13日 (金) ～9月30日 (木)	夏季休業
	8月13日 (金) ・16日 (月)	全学休業日
	9月24日 (金)	秋季卒業式

後期 (10月1日～3月31日)

第3ターム (10/11/5)	10月1日 (金)	秋季入学式・後期授業開始
	10月1日 (金) ～14日 (木)	後期履修手続期間
	10月30日 (土) ・31日 (日)	大学祭
	11月3日 (水・文化の日)	水曜日の授業実施
	11月5日 (金) ～11月18日 (木)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	11月19日 (金) ～11月25日 (木)	第3ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う。)
	11月23日 (火・勤労感謝の日)	火曜日の授業・試験実施
	第4ターム (11/26/10)	11月26日 (金)
12月21日 (火) ～1月3日 (月)		冬季休業
1月14日 (金)		開学記念日の振替日 (授業は実施しない)
1月18日 (火) ～1月31日 (月)		補講週 (6時限に補講を行う週)
2月1日 (火) ～2月10日 (木)		後期定期試験
2月11日 (金) ～3月31日 (木)		学年末休業
3月23日 (水)		春季卒業式

(8) 教職員数

ア 2021年5月1日時点

(7) 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計	
学長・副学長	小計	1	2					3	
	男	1	1					2	
	女		1					1	
国際学部	小計		20 (4)	20 (3)	7			47 (7)	
	男		14 (3)	13 (2)	4			31 (5)	
	女		6 (1)	7 (1)	3			16 (2)	
情報科学部	小計		28	33	17	18 (1)	4	100 (1)	
	男		26	32	16	17 (1)	4	95 (1)	
	女		2	1	1	1		5 (0)	
芸術学部	小計		11 (1)	9	8	3		31 (1)	
	男		11 (1)	6	6	1		24 (1)	
	女			3	2	2		7 (0)	
広島平和研究所	小計		5 (2)	6 (3)	1		3	15 (5)	
	男		5 (2)	2 (1)			3	10 (3)	
	女			4 (2)	1			5 (2)	
企画室	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
社会連携センター	小計						3	3 (0)	
	男						3	3 (0)	
	女							0 (0)	
国際交流推進センター	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
合計	計	1	2	64 (7)	68 (6)	33 (0)	21 (1)	12 (0)	201 (14)
	男	1	1	56 (6)	53 (3)	26 (0)	18 (1)	12 (0)	167 (10)
	女	0	1	8 (1)	15 (3)	7 (0)	3 (0)	0 (0)	34 (4)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計	
非常勤講師	計	55	99	154 (24)
	男	47	72	119 (19)
	女	8	27	35 (5)

※ 2021年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員	
事務局	小計	50	33	14
	男	22	5	-
	女	28	28	-
社会連携センター	小計	6	2	0
	男	1	1	-
	女	5	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	1
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	58	36	15
	男	23	6	-
	女	35	30	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	3
	男	0
	女	3

※ 職員 …… 2021年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 …… 2021年5月1日現在
臨時職員 …… 2021年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

イ 2020年5月1日時点

(7) 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計	
学長・副学長	小計	1	2					3	
	男	1	1					2	
	女		1					1	
国際学部	小計		19 (4)	18 (3)	6 (0)			43 (7)	
	男		13 (3)	12 (2)	3			28 (5)	
	女		6 (1)	6 (1)	3			15 (2)	
情報科学部	小計		26	33	18	17	2	96 (0)	
	男		24	32	17	16	2	91 (0)	
	女		2	1	1	1		5 (0)	
芸術学部	小計		14 (1)	9	6	3		32 (1)	
	男		14 (1)	6	5	1		26 (1)	
	女			3	1	2		6 (0)	
広島平和研究所	小計		5 (2)	5 (3)			3	13 (5)	
	男		5 (2)	2 (1)			3	10 (3)	
	女			3 (2)				3 (2)	
企画室	小計						2	2 (0)	
	男						2	2 (0)	
	女							0 (0)	
社会連携センター	小計						3	3 (0)	
	男						3	3 (0)	
	女							0 (0)	
国際交流推進センター	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
合計	計	1	2	64 (7)	65 (6)	30 (0)	20 (0)	11 (0)	193 (13)
	男	1	1	56 (6)	52 (3)	25 (0)	17 (0)	11 (0)	163 (9)
	女	0	1	8 (1)	13 (3)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	30 (4)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計	
非常勤講師	計	74	120	194 (19)
	男	63	91	154 (14)
	女	11	29	40 (5)

※ 2020年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員	
事務局	小計	49	32	14
	男	22	5	-
	女	27	27	-
社会連携センター	小計	5	2	0
	男	0	1	-
	女	5	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	2
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	56	35	16
	男	22	6	-
	女	34	29	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	4
	男	0
	女	4

※ 職員 …… 2020年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 …… 2020年5月1日現在
臨時職員 …… 2020年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

(9) 学生数 (2021年5月1日時点)

ア 学部

(単位:人)

学部	学科	総定員	1年次			2年次			3年次			4年次			合計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
国際学部	国際学科	400	21	90	111	23	92	115	30	81	111	48	100	148	122	363	485	
情報科学部	(学部所属)	-	191	37	228	1		1			0			0	192	37	229	
	情報工学科	240			0	65	8	73	66	13	79	61	11	72	192	32	224	
	知能工学科	240			0	57	10	67	57	15	72	52	10	62	166	35	201	
	システム工学科	240			0	61	14	75	52	10	62	53	11	64	166	35	201	
	医用情報科学科	120			0	36	12	48	29	8	37	19	9	28	84	29	113	
	計	840	191	37	228	220	44	264	204	46	250	185	41	226	800	168	968	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	40	3	7	10	4	9	13		13	13	1	9	10	8	38	46
		油絵専攻	80	6	14	20	5	16	21	6	15	21	6	19	25	23	64	87
		彫刻専攻	40	5	6	11	4	6	10	3	9	12	5	9	14	17	30	47
		小計	160	14	27	41	13	31	44	9	37	46	12	37	49	48	132	180
	デザイン工芸学科	160	7	34	41	3	39	42	3	42	45	8	38	46	21	153	174	
	計	320	21	61	82	16	70	86	12	79	91	20	75	95	69	285	354	
合計		1,560	233	188	421	259	206	465	246	206	452	253	216	469	991	816	1,807	

イ 大学院

(単位:人)

研究科	専攻	総定員	1年次			2年次			3年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国際科学研究科	国際学	30	4	4	8	3	9	12			0	7	13	20
	国際学(後期)	21		2	2	1		1	3	1	4	4	3	7
	計	51	4	6	10	4	9	13	3	1	4	11	16	27
情報科学研究科	情報工学	46	20	1	21	20	2	22			0	40	3	43
	知能工学	46	20	3	23	12		12			0	32	3	35
	システム工学	46	24	2	26	18	4	22			0	42	6	48
	医用情報科学	30	5	3	8	5	1	6			0	10	4	14
	(前期計)	168	69	9	78	55	7	62	0	0	0	124	16	140
	情報科学(後期)	84	1	0	1	4	0	4	3	0	3	8	0	8
計	252	70	9	79	59	7	66	3	0	3	132	16	148	
芸術科学研究科	造形芸術専攻	60	10	14	24	10	17	27			0	20	31	51
	総合造形芸術(後期)	18	2	5	7	1	2	3	4	5	9	7	12	19
	計	78	12	19	31	11	19	30	4	5	9	27	43	70
平和学研究科	平和学専攻	20	3	1	4	6	2	8			0	9	3	12
	平和学専攻(後期)	12	3		3			0			0	3	0	3
	計	32	6	1	7	6	2	8	0	0	0	12	3	15
計	前期	278	86	28	114	74	35	109	0	0	0	160	63	223
	後期	135	6	7	13	6	2	8	10	6	16	22	15	37
合計		413	92	35	127	80	37	117	10	6	16	182	78	260

(10) 研究生・留学生等 (2020年度)

(単位:人)

区分	人数	摘要
研究生	0	
外国人研究生	13	中国12、インドネシア1
科目等履修生	10	中国5、シリア2
特別聴講学生	16	中国5、ドイツ5、フランス4、カナダ1、タイ1
外国人留学生	73	中国61、韓国5、ベトナム4、ガーナ1、台湾1、インドネシア1

※ 外国人留学生は、2020年12月31日の在籍状況。その他は2020年度の受入数

※ 2020年度外国人留学生の学部等別内訳

国際学部26、情報科学部7、芸術学部1、国際学研究科12、情報科学研究科10、芸術学研究科1

(11) 入学検定料、入学料、授業料等（2021年4月1日時点）

区 分			金 額	
入学検定料	学生	学部	17,000円 (転学、編入学又は再入学に係る入学検定料については、30,000円)	
		大学院	30,000円	
	研究生		9,800円	
	科目等履修生		9,800円	
入学料	学生	市内の者	282,000円	
		市外の者	423,000円	
	研究生	市内の者	84,600円	
		市外の者	126,900円	
	科目等履修生	市内の者	28,200円	
		市外の者	42,300円	
授業料	学生		年額	535,800円
	研究生		月額	29,700円
	科目等履修生		1単位につき	14,800円
	特別聴講学生		1単位につき	14,800円
公開講座受講料			1講座につき5時間まで	5,200円
			1講座につき5時間を超える時間5時間までごとに	1,000円
学位論文審査手数料			1件につき	57,000円
学生寮使用料			月額	5,900円
国際学生寮使用料			月額	20,000円
			日額	710円
証明書交付手数料			1件につき（証明書又は翻訳文書の用紙1枚を1件とする。）	350円

※1 この表において「市内の者」とは次の各号のいずれかに該当する者をいい、「市外の者」とは市内の者以外の者をいう。

- (1) 入学の日の属する月の初日において引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前2号に掲げる者に準ずると認める者

※2 国際学生寮使用料の日額については、短期滞在者に適用する。

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー

ア 学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、感性豊かな人間性を涵養するとともに、新しい時代の潮流に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を開設します。
2. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化する中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考し判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与する。

[知識・技能]

1. 人文・社会科学の知見や理論についての系統的な知識を身に付けている。（知識）
2. 人文・社会科学の分野をまたいで学際的に探求する技能を身に付けている。（技能）

[思考力・判断力・表現力]

1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知識や理論を基に社会の諸問題を探求することができる。（思考力）
2. 根拠に基づいて論理的に考え判断することができる。（判断力）
3. 自らの考えを説得的に分かりやすく表現する能力を身に付けている。

[主体性・協働性]

1. 社会が抱える課題を自発的に見出し、取り組む姿勢を有している。（主体性）
2. 世界の中で、多様な背景を持った人々とともに生きる社会を築いていくために、他者と協働する態度を有している。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部が掲げる学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成します。

（全学共通系科目）

- ・幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れる。

(学際的なカリキュラム編成)

- ・人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解するための学際的なカリキュラムを編成し、分野を統合して思考・判断し、国際社会や地域社会の諸問題を多面的・複眼的に解決できる能力を養成する。

(専門基礎科目)

- ・国際学部における専門分野を学ぶ上で基礎となる知識と技能を修得し、国際学部での学びを展望することを目的に、専門基礎科目を開設する。(1～2年次)

(外国語運用能力を発展させる科目)

- ・実践的な外国語運用能力を身に付け発展させるため、国際学部専門科目として英語特講科目群を開設する。また、英語を含む外国語で授業を行う専門科目を各プログラム科目群や国際研究特講科目群に開設する。(1～3年次)

(専門科目)

- ・専門的な知識・技能を修得し、思考力・判断力・表現力を高めるため、以下のプログラム分野に専門科目を開設する。専門科目では、人文・社会科学の理論や知見を幅広く系統的に理解するとともに、学際的な視野を開くことを目指す。各プログラムには、1年次に入門科目を配置しており、2年次以降の専門科目へのスムーズな導入を図る。(1～3年次)

(1) 国際政治・平和プログラム

紛争、テロ、難民、開発、環境などの地球規模の課題を解決するため、国際関係の理論や歴史、平和研究の方法や実践について学ぶ科目

(2) 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するため、人々の生活の基礎である経済や社会のあり方、市民・NPO・政府などが果たす役割について学ぶ科目

(3) 多文化共生プログラム

国家、地域、民族、文化の垣根を越えて、多様な考え方を持つ人々との共生に関する理論や実践について学ぶ科目

(4) 国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題など、国際的な視点からビジネスについて学ぶ科目

(5) 言語・コミュニケーションプログラム

人間の社会的営みの基礎である言語・コミュニケーションに関する諸問題を学ぶ科目

(演習科目、卒業論文)

- ・発表や討論などの主体的な学修を重視する少人数双方向での演習科目を、1年次から4年次まで継続して開設する。自らのテーマを多面的に追究するため、3年次には複数の専門演習の履修を可能とする。各年次の演習は、国際学部における学修の集大成として

の卒業論文に有機的につなげる指導と結び付ける。

- (1) 国際学部における学びに必要な知識・技能や協働性に加え、関心・意欲を持って学び続ける態度を身に付ける基礎演習（1年次）
- (2) 専門分野を見極め、論理的な思考力・判断力・表現力に磨きをかける発展演習（2年次）
- (3) 専門性を磨き、応用力を養うための専門演習（3年次）
- (4) 自らのテーマを専門的かつ総合的に追究し、学修の集大成として卒業論文を執筆する卒論演習（4年次）

（少人数教育）

- ・演習や各授業クラスを少人数で編成し、対話を通じた主体的で深い学びを推進するとともに、少人数教育ならではの濃密できめ細かな指導を行う。

（キャリア教育）

- ・各学年の演習科目では、各自の学修プランを基に、実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する。

（グローバル人材育成）

- ・グローバルな視点から国際社会や地域社会に貢献できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外インターンシップなど、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進する。

（地域志向人材育成）

- ・地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、地域再生や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設する。

（評価）

- ・上記科目における知識量、理解度、能力については、客観的な指標、学習及び発表に関わる成果物などを利用して総合的に評価を行い、教育課程を継続的に評価・検証する。
- ・専門科目のプログラム科目群1つで、所定の単位数を修得した場合、当該プログラム領域を主専攻として専門に履修したことを認定する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。

国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。

そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、

次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

(関心・意欲)

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人。

(知識・技能)

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人。

(思考力・判断力・表現力)

- ・ 社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人。
- ・ 日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

(主体性・協働性)

- ・ 何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
- ・ 国際社会や地域社会で起こっている人間の営みに関連する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働して活動することができる人。

(4) 情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、以下の専門分野における基本的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成します。

[情報工学分野]

コンピュータやネットワークなどの情報基盤技術に関する分野

[知能工学分野]

人工知能を支える数理、知識情報処理、ソフトウェア技術に関する分野

[システム工学分野]

情報システム全体の調和と協調を図った創造的なシステム化技術に関する分野

[医用情報科学分野]

情報科学・自然科学・工学を基に、医用、生命、環境などへの活用技術に関する融合分野

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部は、下記に挙げる3つの観点における能力を修得した者に対して卒業を認定し、次に示すように、修得した内容に応じて「学士（情報科学）」または「学士（情報工学）」

を授与する。

- ・学士（情報科学）：情報科学における真理の探究に必要となる能力を主に修得した者
- ・学士（情報工学）：情報科学の利活用による課題解決に必要となる能力を主に修得した者

[知識・技能]

1. 多様な文化・価値観を尊ぶための人間、社会、自然に関する幅広い知識を身に付けている。(知識)
2. 情報科学または情報工学における技術者や研究者に求められる基本的な知識を身に付けている。(知識)
3. 情報科学または情報工学の課題に取り組み、結果や考察を理論的に記述することができる。(技能)
4. 国際的コミュニケーションのための基礎的な語学力を身に付けている。(技能)

[思考力・判断力・表現力]

1. 情報科学または情報工学における知識・技能に基づき、論理的・合理的に思考・判断することができる。(思考力・判断力)
2. 技術者・研究者として自分の考えを分かりやすくプレゼンテーションすることができる。(表現力)

[主体性・協働性]

1. 情報科学の切り口から真理の探求または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(主体性)
2. 多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組むことができる。(協働性)

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部が掲げる学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成する。

（全学共通系科目）

- ・幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れる。

（情報科学系・情報工学系科目）

- ・急速に発展する情報通信技術（ICT）に適応しながら次世代の情報化社会を想像する人材を育成するため、情報科学、情報工学、計算機科学、計算機工学とその応用を修得する次の2系統の科目を学部共通科目・専門基礎科目・専門基礎科目のそれぞれに編成する。
- (1) 情報科学系科目：高度情報化社会を支える技術の基盤となる自然科学とその応用に関

する科目

- (2) 情報工学系科目：高度情報化社会を実現するために必要な知識と基礎技術及びその応用に関する科目

(数学、プログラミング及び英語の重点的な教育)

- ・情報科学または情報工学を学ぶ上で特に重要な基礎科目である数学、プログラミングは1～2年次に、英語は1～3年次に重点的な教育を行う。教育にあたっては、コンピュータ及び情報関連機器を用いた情報処理能力が身に付くように、継続的に情報機器の利用とそれによる学習が可能になるように配慮する。また、英語教育については、一般的な内容から専門分野における内容まで学習できるように科目を配置する。

(学部共通科目)

- ・情報科学または情報工学の基礎的、普遍的な知識・技能を修得するため、学部共通科目を開設する。また、学部共通科目を履修した上で、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを導入する。

(専門基礎科目)

- ・各学科の専門分野における基礎的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を修得するため、情報科学及び情報工学に関する専門基礎科目を主に2年次に開設する。
- (1) 情報工学科：技術者や研究者に求められる情報工学の基本的な知識が身に付くように、コンピュータ、ネットワーク、コミュニケーション基盤の分野を横断した内容の科目を2・3年次に配置する。
 - (2) 知能工学科：知識情報処理、メディア情報処理、及びそれらに関連する数理を中心とした知能工学全般に共通して必要な能力を身に付けるための専門基礎科目を2年次に配置する。
 - (3) システム工学科：システム工学科では、情報システム全体の調和と協調を図った創造的なシステム化技術を学ぶ。それに必要となる数学・情報・工学に関する基礎的な科目を2年次に配置する。
 - (4) 医用情報科学科：医用情報科学または医用情報工学分野などの異分野融合領域を支える3つの普遍的学問領域（情報系科目、工学系科目、自然科学系科目）を専門基礎として開設する。

(専門科目)

- ・各学科の専門分野における専門的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を修得するため、専門科目を開設する。
- (1) 情報工学科：3年次にコンピュータ、ネットワーク、コミュニケーション基盤の各分野における専門性を高める専門科目を配置する。
 - (2) 知能工学科：知識情報処理、メディア情報処理、及びそれらに関連する数理を中心とした知能工学分野の専門的な能力を身に付けるための専門科目を3年次に配置する。

- (3) システム工学科：体系的に専門知識が身に付くようにシステム起訴、ロボット・人間共生、インタフェースデザインの各専門系列科目を3年次に配置する。
- (4) 医用情報科学科：専門基礎科目を土台として、3つの普遍的学問領域（情報系科目、工学系科目、自然科学系科目）を医用、生命、環境などへ応用展開する医用情報科学系科目を開設する。

（実験科目、卒業研究）

- ・実験、演習、口頭発表などの体験的・総合的な学修を重視した以下の科目を開設する。
- (1) 学部共通科目で習得した知識を具体的な問題に適用する能力を育成する実験科目
- (2) 専門基礎科目・専門科目で習得した知識を具体化させ、思考力・洞察力を養い、実際的な問題・課題を解決する能力を育成する実験科目
- (3) 研究に対する方法論、問題解決力を身に付け、研究の成果・意義・有用性を論理的にまとめ、発表・討論する能力を育成する以下の2種類のテーマでの卒業研究
 - 情報科学・自然科学における真理の探究を目的としたテーマ
 - 情報科学の利活用による課題解決を目的としたテーマ

（学生の多様化への対応）

- ・少人数教育、習熟度別のクラス編成、主体的・対話的で深い学びの推進などにより、知識や学力の多様化した学生に対して効果的な教育を行う。

（キャリア教育）

- ・技術者・研究者としての使命感・倫理観の養成、実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する科目を1～3年次に開設する。

（グローバル人材育成）

- ・技術者・研究者としてグローバルに活躍できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外での研究発表など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進する。

（地域志向人材育成）

- ・地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、情報科学を用いた地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を1～3年次に開設する。

（評価）

- ・上記科目における知識量、理解度、能力については、客観的な指標、学習及び発表に関わる成果物などを利用して総合的に評価を行い、教育課程を継続的に評価・検証する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。

情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。

そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

〔求める人物像〕

（関心・意欲）

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

（知識・技能）

情報工学・情報科学を学ぶ上で土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科及び語学の知識・技能を有している人。

（思考力・判断力・表現力）

- ・物事を多面的にとらえ、総合的かつ論理的に思考して合理的に判断することができる人。
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

（主体性・協働性）

- ・国際社会や地域社会で起こっている情報工学・情報科学に関連する課題を意識し、その課題の本質を理解し、自ら率先して解決しようとする熱意を持っている人。
- ・共通の目的を達成するために、他人の価値観を尊重し、他人と協調して活動する主体的なコミュニケーション力を身に付けている人。

（ウ） 芸術学部

人材育成の目標

芸術学部は、創造性、先見性及び独創性に富み、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、創造性に富んだ創作と先見性、独創性に富んだ表現・研究を発信できる人材。
2. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、地域や産業などさまざまな社会分野において、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

芸術学部は、所定の期間在学中に、所定の単位を修得し、卒業制作を行い、審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与する。なお、学生が卒業までに求められる3つの観点の能力を次に挙げる。

[知識・技能]

〈美術学科〉

以下のいずれか1つの専攻における専門的な知識・技能を有している。

（日本画専攻）

1. 日本画における伝統的な絵画表現の知識を身に付けている。（知識）
2. 日本画に関する独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能）

（油絵専攻）

1. 油絵における西洋の伝統的な絵画表現の知識を身に付けている。（知識）
2. 油絵に関する独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能）

（彫刻専攻）

1. 彫刻における伝統的な表現の知識を身に付けている。（知識）
2. 現代における独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能）

〈デザイン工芸学科〉

現代表現、視覚造形、映像メディア造形、立体造形、金属造形、染織造形、漆造形のいずれか1つの分野における専門的な知識・技能を有している。

1. デザイン工芸の各分野における歴史的変遷を理解している。（知識）
2. 社会や生活に関わる作品を創作するための造形技術を身に付けている。（技能）

[思考力・判断力・表現力]

1. 次代の文化芸術を創造するために、柔軟に想像したものを論理的に構想することができる。（思考力）
2. 創作過程における問題に対して、効果的な解決策を見出すことができる。（判断力）
3. 作品と言葉によって、創作に込めた自らの考えを的確に他者や社会に伝えることができる。（表現力）

[主体性・協働性]

1. 社会との関わりの中で、自らの感性を創作に生かそうとする姿勢を有している。（主体性）
2. 自らの創作を通じて、他者と協働する姿勢を有している。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部が掲げる学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成します。

(全学共通系科目)

- ・幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れる。

(芸術学部のカリキュラム編成)

- ・学位授与の方針に掲げる基準を達成させるため、各学科・専攻に関わる基礎的な知識や技能を修得できる科目(専門基礎科目)と、専門知識や独創的な表現を修得できる科目(専門科目)を体系的に配置する。専門科目では、学年に応じて、実習・演習を段階的に配置し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行う。

(専門基礎科目)

- ・主に 1・2年次で、芸術の理論、歴史、技術や素材等に関する基礎的な知識・技能を身に付けるための科目を配置する。

(専門科目)

- ・専門的な知識・技能を段階的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付け、創作を通じて主体性、協働性を養うための実習・演習を主とした科目を配置する。3年次では国内外の古典芸術について事前調査・実地研究を行い、より専門的な知見を深めるための科目として、「古美術研究」を配置する。4年次では主体的に創作を行い、プレゼンテーション能力を含む表現力を修得するための科目として、「卒業制作」を配置する。

[美術学科日本画専攻]

- ・1・2年次では絵画表現の基礎となる観察力、描写力、技法材料への知識を身に付けるための科目を配置する。
- ・3年次には1・2年次で養った基礎力を各課題で反復応用し、独創性を涵養するための科目を配置する。
- ・4年次にはこれまでに修得した創作能力を活かし、幅広い知識とプレゼンテーション等を含む絵画の表現力と、他者との協働性を身に付けるための科目を配置する。

[美術学科油絵専攻]

- ・1・2年次では絵画表現の基礎として、観察力と描写力を主とした造形及び創作を行う知識・技能を身に付けるための科目を配置する。
- ・3年次には1・2年次の習作を通して養った能力を、自身の表現へ昇華させるための科目を配置する。また、他者と協働できるよう、プレゼンテーション能力を身に付けるための科目を配置する。
- ・4年次にはこれまでに修得した知識・技能・思考力・判断力・表現力を、独創性へと高めるための科目を配置する。

[美術学科彫刻専攻]

- ・ 1・2年次では、彫刻表現の基礎となる造形力及び彫刻制作の知識・技能を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 3年次では1・2年次に養った造形力と知識・技能を用い、他者と協働しながら自身の考えを作品として表現する応用力を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 4年次にはこれまでに修得した造形力及び知識・技能を深め、プレゼンテーション能力を含む創作者としての展開力を身に付けるための科目を配置する。

[デザイン工芸学科]

- ・ 1年次では、デザイン工芸で必要となる能力のうち、知識、技能及び思考力を中心としてその基礎を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 2年次では、学生の指向性と7つの専門分野を対応させ、各分野における専門的な知識、技能及び思考力を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 3年次では、2年次までに養った能力をさらに発展させ、創作に必要となる判断力や表現力、主体性を身に付けるための科目を配置する。また、グループ展の企画・運営を通じて、協働性を涵養するための科目を配置する。
- ・ 4年次では、これまでに修得した能力を統合的に応用し、作品を制作する表現力と、作品制作から展示までの過程を通じて主体性、協働性を高めるための科目を配置する。

(キャリア教育)

- ・ 芸術の専門的な知識・技能を生かして社会で活躍できる能力を養成するため、専門科目の中で学生のキャリア形成を支援する教育を行う。

(グローバル人材育成)

- ・ グローバルな視点に立った創作を行うことができるよう、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進する。

(地域志向人材育成)

- ・ 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、芸術による地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を配置する。

(評価)

- ・ 上記科目における知識、技能、表現力については、卒業制作などから総合的に評価を行い、専門教育課程を継続的に評価・検証する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

(関心・意欲)

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

(知識・技能)

高等学校等で習得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

(思考力・判断力・表現力)

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

(主体性・協働性)

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

イ 大学院課程

人材育成の目標

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学大学院は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の高度な知識・技能・能力を身に付けた上で研究科が定める審査に合格した学生に対して修了を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学大学院は、それぞれ博士前期課程と博士後期課程を有する4研究科で構成され、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うため、各研究科において、基礎から応用に至る教育課程を編成します。
2. 博士前期課程については、幅広い視野に立った学識を身に付け、高い倫理観を養うことを目的とする全研究科共通科目群を開設します。
3. 博士後期課程については、各研究科の特性に応じた、高度な研究指導を行います。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学研究科

人材育成の目標

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言語文化のさまざまな機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、現代社会の問題点や課題を自ら発見し、解決に貢献したり指導力を発揮したりできる実践的な能力を備えた人材
2. 独自性及び独創性をもって研究や諸活動に携わることができる教育者・研究者・実務者

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下のいずれかの学識・能力を身に付けた上で、修士論文あるいは課題研究報告書を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- ・それぞれの専門分野（国際関係研究、公共政策研究、経営政策研究、社会文化研究、言語

文化研究)における十分な学識と、グローバル化時代における諸課題を多面的かつ的確に分析し考察できる能力、及び高い研究能力

- ・国際学研究科における学修を通じて研鑽し身に付けた学識と、文系実務者としての能力

博士後期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身に付けた上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士(国際学、学術又は平和学)の学位を授与します。

- ・グローバル化時代において国際社会とそれを構成する多様なコミュニティが抱える諸課題を各専門分野の理論や方法を用いて分析する国際社会研究分野、あるいは日本をはじめ世界各地域を対象として政治・経済・文化・言語などについて多面的に研究を深める地域研究分野における高度な学識
- ・研究者として自立できる研究能力と独自性の高い研究成果を達成できる能力
- ・課程修了見込者及び課程修了者と同等以上の学力及び研究能力(博士学位請求論文を提出して審査に合格した者)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能の育成を基本理念としています。国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言語文化等に関わる課題の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題点や課題を自ら発見し解決できる実践的な人材の養成と、独自性の高い研究や諸活動に携わることのできる教育者・研究者・実務者の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

1. 全研究科共通科目

全研究科共通科目(広島市立大学大学院国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科及び平和学研究科の共通科目をいう。)は、多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識を習得し、専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、多角的な分析視点、多様な問題意識、及び柔軟な判断力を養うことを目的として、人文、社会、自然、芸術などの学際的な授業科目で編成します。

2. 研究科開設科目

政治、経済、文化の基本的枠組みを念頭に置き、国際学研究科特有の特色を持った専門研究に取り組めるように、専門基礎科目群と専門研究科目群(国際関係研究群、公共政策研究群、経営政策研究群、社会文化研究群、言語文化研究群)を設置するとともに、これらの領域を横断する地域研究や平和研究に関わる多彩な教育・研究内容の授業科目を開設します。

(1) 専門基礎科目

研究者及び高度文系実務者を養成するために、専門基礎科目、国際研究特講、特別講義・演習を開設します。

専門基礎科目として、人文・社会科学研究の基本的なアプローチ方法とアカデミック・スキルズ、及び統計処理・分析に必要な基礎知識を習得する科目を開設します。また、特に広島と世界の関連に着目した修士（平和学）の学位取得を目指す院生を対象とした平和学コア科目群や、国際研究特講としてのピース・インターンシップ等を配置します。

(2) 専門研究科目群

2-1. 国際関係研究群

グローバル化時代の国際社会やそれを構成するさまざまなコミュニティの変化に対応できる能力を養成することを目的に、国家、国際組織、市民や非政府組織など多様な主体の相互関係を、歴史的・理論的に深く学ぶための専門科目を開設します。また、世界各地の国際関係史や政治外交史に関する高度な専門研究を通じて、課題解決能力を高めることを目指します。

2-2. 公共政策研究群

多様化する現代社会の課題について、公共関連組織や民間企業などの役割や機能を考察しながら分析し対処できる能力を高めることを目的に、経済・社会の諸側面から理論的・実践的に学ぶ専門科目を開設します。経済政策、国際開発、環境経済、都市経済、非営利組織、情報メディア、持続可能な開発のための教育などの分野で、公共政策に関する高度な専門研究を通じた実践的能力を高めることを目指します。

2-3. 経営政策研究群

グローバル化が進む事業環境で活動する組織や企業に求められる組織経営手法とビジネス・センスを磨くことを目的に、経営に関わる諸課題を、理論的・実践的に学ぶための専門科目を開設します。国際経営、マーケティング、人的資源管理、会計、国際商務、多国籍企業、国際金融などの専門研究を通じて、実際の経営に生かせる、長期的・多角的視野での柔軟かつ創造的な実践的能力を高めることを目指します。

2-4. 社会文化研究群

複雑化が進行する世界と、多様化が進む地域の双方の課題に、人間とその社会に対する深い理解をもって対処できる能力を身に付けることを目的に、社会と文化の諸側面を歴史的・理論的に深く学ぶための専門科目を開設します。世界各地の社会や文化に関して、歴史学、社会学、文化人類学、哲学などの専門研究を通じて、多様化が進む社会の中で、関連する分野で活躍できる実践的能力を高めることを目指します。

2-5. 言語文化研究群

言語と文化に関わるさまざまな課題を専門的な理論や方法に基づき、研究することを目的とし、言語や文化が人々の社会的営みに果たす役割を深く学ぶための専門科目を開設します。日本語及び外国語教育、比較言語、言語政策、文学、異文化理解、通訳・翻訳などの専門研究を通じて、言語や文化に関わる分野に造詣を深めるとともに、関連する分野で活躍できる実践的能力を高めることを目指します。

博士後期課程

国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティの多彩な側面を正確に把握し、多種多様な領域を解明するために、政治、経済、文化の基本的枠組みを念頭に置き、国際社会研究分野と地域研究分野の2つの研究分野から教育課程を編成します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 国際社会やそれを構成するさまざまなコミュニティが抱える諸課題について、専門的なアプローチを用いて課題の発見や解決に取り組もうとしている人
2. 専門性を深めるために探究し、思考や議論を深めるための論理性や説得力を備えている人
3. 本研究科の研究分野に関する基礎知識及び研究に必要な語学力を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高め研究や職業に役立てようとする人
4. 本研究科での学びを通じて、自己研鑽に努めたい人

(4) 情報科学研究科

人材育成の目標

情報科学研究科は、情報工学及び情報科学分野において、学理の探求と科学技術の発展に貢献するとともに、高度な専門学識、専門技術及び創造力を身に付けた人材の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータ及びネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材
2. 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3. 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野を持った研究開発能力を身に付けた人材
4. 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、高

度な専門的技術と理論を修得した上で、修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

博士後期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、極めて高度な専門的技術と理論を修得した上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学研究科は、以下の分野において、学理の探究と科学技術の発展に貢献するとともに高度な専門学識・技術と創造力を身に付けた人材の育成を理念としています。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

これらの分野において、高度な専門的知識・技能・能力を修得させる教育を実施するために、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野に立った学識を身に付け、高い倫理観を養うため、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技術・技能を養うために、理学・工学を統合する視点から教育課程を編成し、以下の科目を開設します。
 - 基礎から応用までの学識・技術の体系を修得する科目
 - 幅広い専門知識を修得するコア科目
 - 情報科学の最先端事項を修得する科目
 - 高度技術者・研究者の素養を修得する科目（研究成果の学会発表の原則義務化）
 - 創造性と自立性及び問題解決能力を育成する科目
 - 産学連携による創造的な人材を育成する科目

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識を養い、高度な研究開発能力及び実践的課題解決能力を育成

するため、以下の科目を開設します。

- 最先端の極めて高度な学識・技術の体系を修得する科目
- 創造性と自立性の育成、及び研究成果の社会的還元を目指す科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人。
2. 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人。
3. 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人。

(ウ) 芸術学研究科

人材育成の目標

芸術学研究科は、文化芸術の創造及び発展をけん引できる、卓越した創作研究能力及び芸術理論に関する高度の専門性を有した人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した制作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身に付けた上で、以下の修了作品（研究報告書を含む）又は修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において高度な能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して高度な能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を有する。
- 修了作品にあっては、専門的な技術を持ち、独創的な表現を追求した作品。
- 修士論文にあっては、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行っている論文。

博士後期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身に付けるか、それと同等以上の学力があると確認された上で、以下の研究作品及び博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において卓越した能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して卓越した能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する高度な学識と経験を有する。

- 研究作品にあつては、高度に専門的な技術を持ち、独創的で卓越した表現を追求した上で、さらなる芸術上の展開が期待できる作品。
- 博士学位論文にあつては、適切なテーマを設定し、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行い、的確な構成と表現によって一貫した主張を行っている論文。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学研究科は、文化芸術の創造・発展をけん引することを理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した創作研究、及び芸術理論に関する研究の能力を培うことにより、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たし、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目的として、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野から芸術を理解し、深い教養を身に付けることができるよう、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技能を養うための科目を開設し、研究指導を行います。
 - 専門的な創作と理論の研究及び発表
 - 創作を基礎づける理論に習熟するための芸術学関連講義
 - 理論構築能力を養う論文作成の演習
 - 分野を超えた造形演習や語学演習
 - 国際的、社会的な環境における創造に関わる研究実践

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識と高度な研究能力を養うための科目を開設し、研究指導を行います。

- 高度で専門的な創作の研究及び発表
- 専門的な理論研究と高度な理論構築能力を養う論文作成の演習
- 専門領域での探究を基に領域を超えた横断的な研究実践

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 美術、デザイン・工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身に付けたい人。
2. 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人。
3. 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身に付け、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身に付けたい人。
4. 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身に付けたい人。

(I) 平和学研究科

人材育成の目標

国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信している、次のような資質を持つ人材を養成します。

1. 国際関係の仕組み及び政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者
2. 平和創造及び平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、及び公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員
3. 今日の国際紛争やグローバル問題などさまざまな事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリスト及びマスメディア専門家

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力等を身に付けた上で、修士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（平和学）の学位を授与します。

1. 核戦争の脅威に対する十分な認識と戦争の予防と人間の安全保障に関する十分な学識
2. 人間の安全保障問題及び国際紛争原因を専門的かつ総合的に分析する能力と平和創造及び平和維持に関し発信する能力
3. 修士論文のテーマ設定に基づき、必要な資料の分析と論旨の整理を行い、明快な論文を作成する能力

博士後期課程

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力等を身につけた上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（平和学）の学位を授与します。

1. 戦争の予防や人間の安全保障など平和創造や平和維持に関する高度な学識。
2. 博士学位論文のテーマ設定に基づき、独自性の高い研究成果を作成する能力。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

平和学研究科は、平和学をはじめ国際政治学、国際邦楽、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、専門的かつ総合的な分析能力をもって、平和創造及び平和維持の阻害要因を鋭く追究できるジャーナリストや平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる研究者、またそれらの知見を行政に生かせる公務員などのプロフェッショナルな人材の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践

します。

博士前期課程

博士前期課程は、全研究科共通科目及び研究科開設科目で構成されています。

1. 全研究科共通科目

全研究科共通科目（広島市立大学大学院国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科及び平和学研究科の共通科目をいう。）は、多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識を習得し、専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、多角的な分析視点、多様な問題意識、及び柔軟な判断力を養うことを目的として、人文、社会、自然、芸術などの学際的な授業科目で編成します。

2. 研究科開設科目

本研究科開設科目は、核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、及びこれまで人類が開発してきた平和創造の手法を修得することを目指すものです。また、研究者をはじめとして、ジャーナリストや公務員など平和創造や平和維持に関するプロフェッショナルな人材を養成する上で、社会科学の分析手法の修得はいうに及ばず、平和創造の理論を修得し、その土台の上で研究、発信することが必須です。また理論研究を進める上で地域研究の学修は不可欠です。

これらのことを踏まえ、開講科目を「研究基礎科目」、「平和の理論」及び「グローバル／リージョナル・ガバナンス」の3つの科目群で構成し、それぞれの科目群をさらに小さな科目群に区分します。

(1) 第一群「研究基礎科目」

社会科学研究の基本的アプローチ（接近法）を修得することを目指す「分析・接近法」と広島への原爆投下の歴史と政治的背景など核戦争の脅威と悲惨さについて修得することを目指す「広島と核」という2つの小科目群を置きます。

(2) 第二群「平和の理論」

第一次世界大戦後に開発されてきた平和創造に関する理論の修得を目指します。

平和の実現のために人類が開発してきたさまざまな戦争予防策と平和創造の手法を修得することを目指す「平和と軍縮」と第二次世界大戦後に開発されたさまざまな平和創造の方法論を修得することを目指す「平和の創造」という2つの小科目群を置きます。いずれも平和創造を見る眼、あるいは平和構築の諸問題を分析する眼を養うことを目的とします。

(3) 第三群「グローバル／リージョナル・ガバナンス」

第三群の目的は、特にアジアでは、国際社会の組織化と規範構築に果たす国際機構の役割が相対的に弱いことが、平和創造においてどのような意味を持つかを問うことにあります。

アジア、中でも東アジア地域研究、及び平和創造において実践の担い手になっている国

際機構の役割について分析する眼を養うために、今日のアジア諸国の政治・外交が直面する危機と課題について考察する「地域と平和」と普遍的国際機構及び地域機構の役割について理解を深める「国際機構と平和」という2つの小科目群を置きます。

博士後期課程

博士後期課程は、博士學位論文の構想作成に必要な学識を身につける特殊研究科目と博士學位論文の作成に必要な研究指導を行う研究演習科目で構成されています。国際平和を脅かす軍事要因、人間の安全を脅かす非軍事要因、及びグローバル諸課題の構造要因を分析する科目により、教育課程を編成しています。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

平和学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- 国際紛争やグローバル問題などの様々な事象に関して、表層にとらわれることなく、その背景や要因を追求し、客観的かつ科学的に分析できる人
- 職業経験を有する社会人においては、平和、人権、及び民主主義に強い関心を持ち、自らの職業経験を学問的に捉え直して、平和創造及び平和維持に関する知識を深めたいという意欲と熱意を有している人
- 平和を創造し維持するためにどのような制度と規範が必要かを自ら考え、研究し、考案したアイデアを国内外に向けて平和創造の視点から発信したいという意欲と熱意を有している人

(2) 特色ある講義科目 (2021 年度)

科目名	学部等	概要																		
広島・長崎講座	ひろしま論	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てる。また、「国際平和文化都市」広島の原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについて講義する。 																	
	平和と人権A (ヒロシマと国際平和)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と人権のうち、本講義では「平和」に焦点を当て、ヒロシマについて様々な分野の専門家が掘り下げ分析する。 ・ 広島の被爆体験も歴史上でみれば、数多くの悲惨な体験の一つである。その内容を専門性に基づき客観的に分析することで、初めて学ぶ事は多い。客観的な分析は、他の悲惨な体験と痛みの共有をもたらし、国際平和に近づける。 																	
	広島からの平和学：実践の方法	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島で平和をめざす多様な取り組みについて、キャンパスの外で当事者から学び、実践する能力を養う。 ・ 土曜の午後、平和文化センターが平和記念資料館で開催する市民講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、社会人と共に学ぶことで、社会性を養う。 ・ 被爆証言を聞いて被爆の実相や核兵器の非人道性を学ぶとともに、いま海外で起きている紛争や虐殺の当事者を講師に招き、平和を創ることの難しさと重要さを学ぶ。 																	
	平和インターンシップ	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。 ・ 本インターンシップは、キャンパス外で平和を学ぶ試みとして 2008 年度から 2011 年度まで単位なしの課外活動として実施した後、内容をより充実させ、2012 年度から単位科目化した。 																	
	HIROSHIMA and PEACE 【不開講】	国際学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島への原爆投下を含む戦時経験について、さまざまな観点から光を当てるとともに、グローバル化時代における世界平和に関連した今日的課題を取り上げることにより、戦争と平和の本質に対する理解を深める機会を、国内外の学生に提供することを目的として、国際学部と広島平和研究所との協力により、夏期集中講座として開講する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>応募者</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名</td> <td>国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名</td> <td>国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名</td> <td>国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名</td> <td>国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名</td> <td>国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	応募者	参加者	2015	国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名	国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名	2016	国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名	国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名	2017	国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名	国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名	2018	国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名	国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名	2019	国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名
年度	応募者	参加者																		
2015	国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名	国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名																		
2016	国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名	国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名																		
2017	国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名	国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名																		
2018	国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名	国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名																		
2019	国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名	国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名																		

科 目 名		学部等	概 要
広島・長崎講座	国際化時代の平和	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島の被爆体験をはじめ、世界が経験した多様な悲惨な体験とその記憶の継承、現在の社会への影響について学ぶことにより、悲惨な体験と記憶の継承が、平和の喪失から平和の創造へと転じる上で果す役割について考える。
情報と企業 (産学連携による遠隔講座)【不開講】		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT (情報通信技術) を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることが目的とする。 ・ (一財) 経済広報センターによる教育支援活動の一環として慶応義塾大学に開設された寄付講座を、実時間遠隔講義環境を利用して、慶応義塾大学、同志社大学、広島市立大学の3拠点を接続し、広島市立大学から参加できるようにしている。 ・ 実時間遠隔講義環境を通して、講義中の質疑応答等双方向の対話が可能であり、講師及び他の大学の様子等が表示され、また、本大学の様子も他の拠点に表示される。
創作と人間		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を作る喜びを伝える。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことが目的とする。 ・ 絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間性の陶冶について考察する。
広島の観光学		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市を中心とする圏域が有する自然、歴史、文化、食等の地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫、観光による地域づくりについて理解を深める。 ・ 人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組み等の基礎知識を修得し、地域活性化における観光の意義と役割について学ぶ。
3学部合同基礎演習		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学部合同授業の中で多様な価値観に触れると同時に、プレゼンテーションを通して他人に伝えるスキルを身につける。 ・ 具体的には、「知のトライアスロン事業」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身につけると同時に、レポート作成やディスカッション、プレゼンテーションにより自己表現能力を養う。 ・ 少人数のゼミ形式の授業を体験することで、教員と学生相互のコミュニケーションを図り、学部を越えた学習集団の形成に役立てる。

科 目 名	学部等	概 要
CALL 英語集中 (eラーニングによる 集中英語学習プログラム)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> • eラーニングによる集中英語学習プログラムを利用し、リーディング、リスニング、文法、語彙を集中的に学習する。 • 履修者は、指定された期間中、自分の都合のよい時間にコンピュータ・ネットワークを通じて配信される教材をコンピュータの指示に従って自分のペースで学習していく。 • このプログラムで用意されている教材をすべて消化するには、毎日1時間程度の学習が必要となる。 • プログラムの受講前と受講後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定する。 • 情報科学部においては、「eラーニング英語」として実施している。

(3) 外部資金の獲得状況 (2016年度～2020年度)

(7) 科学研究費助成事業 (交付決定額)

○2020年度内訳は、別表「2020年度科学研究費補助金交付決定内訳」のとおり

(2021年3月31日現在)

区 分	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
基盤研究(A)	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	5,700 千円	1 件	9,100 千円	1 件	6,500 千円
基盤研究(B)	8 件	31,700 千円	8 件	24,270 千円	6 件	19,300 千円	5 件	18,700 千円	6 件	18,900 千円
基盤研究(C)	39 件	40,460 千円	49 件	45,240 千円	45 件	45,900 千円	50 件	50,700 千円	48 件	44,800 千円
挑戦的萌芽研究	7 件	5,500 千円	5 件	3,900 千円	2 件	1,600 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
挑戦的研究(萌芽)	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	2,100 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
若手研究(A)	2 件	18,600 千円	2 件	7,000 千円	2 件	7,000 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
若手研究(B)	6 件	5,700 千円	8 件	6,300 千円	6 件	4,900 千円	3 件	2,900 千円	3 件	1,500 千円
若手研究	- 件	- 千円	- 件	- 千円	3 件	2,300 千円	6 件	5,100 千円	8 件	7,100 千円
新学術領域研究	1 件	10,300 千円	1 件	6,300 千円	1 件	6,300 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
研究成果公開促進費	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	2,200 千円	- 件	- 千円
研究活動スタート支援	- 件	- 千円	1 件	1,100 千円	2 件	1,500 千円	3 件	2,500 千円	1 件	1,100 千円
合 計	63 件	112,260 千円	74 件	94,110 千円	69 件	96,600 千円	69 件	91,200 千円	67 件	79,900 千円
【参考】間接経費	33,678 千円		27,882 千円		29,340 千円		26,160 千円		23,970 千円	

※交付決定額(直接経費)の件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費及び間接経費を除く。
 ※参考掲載の間接経費は、本学研究者代表者分である。

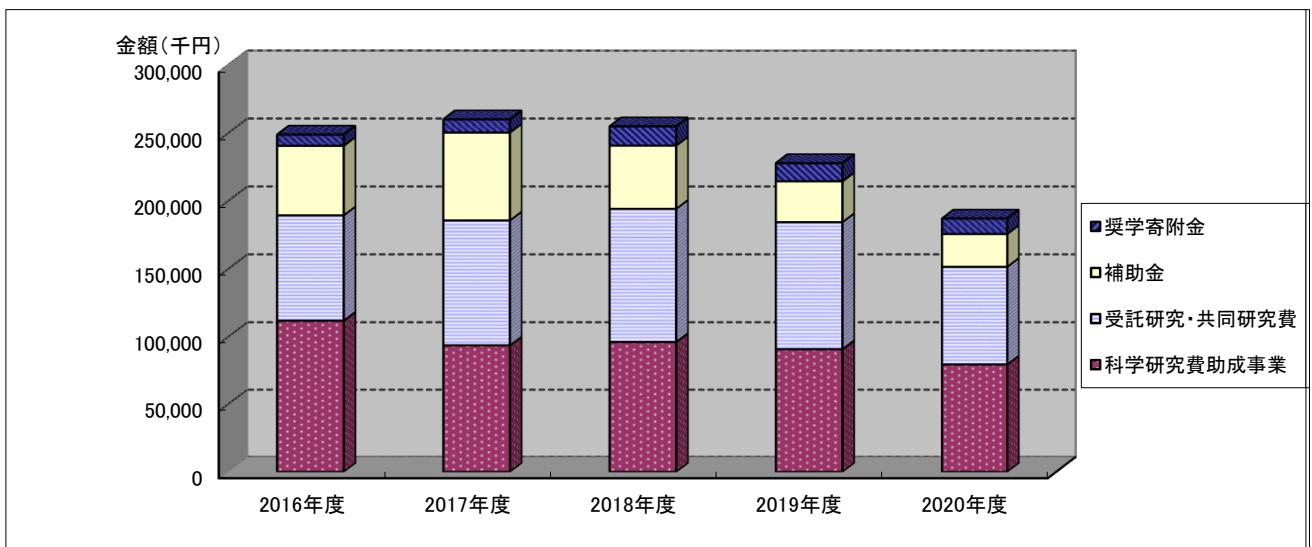
(4) その他外部資金獲得状況

(2021年3月31日現在)

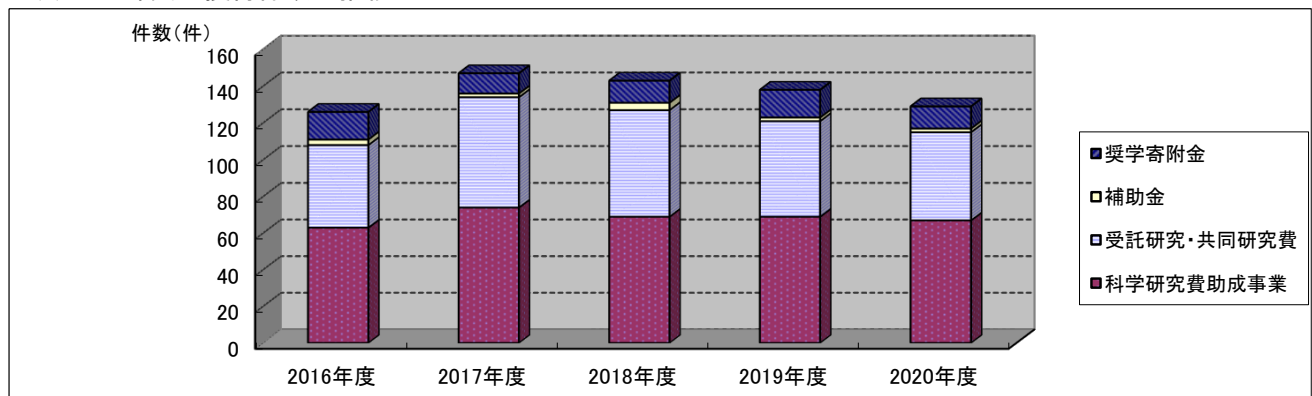
区 分	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
受託研究・共同研究費	45 件	77,567 千円	60 件	91,982 千円	58 件	98,034 千円	52 件	93,636 千円	48 件	72,057 千円
補助金	2 件	51,238 千円	4 件	64,707 千円	2 件	46,526 千円	2 件	30,057 千円	2 件	24,196 千円
奨学寄附金	15 件	8,182 千円	11 件	9,694 千円	12 件	14,184 千円	15 件	13,347 千円	12 件	11,302 千円
合 計	62 件	136,987 千円	75 件	166,383 千円	72 件	158,744 千円	69 件	137,040 千円	62 件	107,555 千円

※補助金は交付決定額、奨学寄附金は寄附金受入時の年度で整理している。

(ウ) 外部資金獲得金額の推移



(イ) 外部資金獲得件数の推移



(4) 科学研究費補助金(2020年度) ※交付決定額は直接経費のみ

① 基盤研究(A) 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 准教授 古川 亮	パターン投影と深層学習を利用した頑健で高精度な3次元内視鏡システム	6,500

② 基盤研究(B) 6件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 青木 信之	共通教育期間を通じた英語力向上のための多様な大学環境でのeラーニングマネジメント	2,900
国際学部 准教授 吉江 貴文	近代ヒスパニック世界における文書ネットワークの成立・展開・変容(衰退)過程の究明	3,400
情報科学研究科 講師 脇田 航	低コストかつ高没入なロコモーションプラットフォーム基盤技術の構築	4,200
情報科学研究科 准教授 満上 育久	注視を介した心の理解とコントロール	4,100
平和研究所 教授 ロバート・ジェイコブス	American Hibakusha: Radiation Affected Communities Inside of the United States of America	1,500
平和研究所 特任教授 大芝 亮	日中韓の歴史認識問題の国際的展開	2,800

③ 基盤研究(C) 48件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 大庭 千恵子	EU加盟候補国における「国民国家」変容－旧ユーゴスラヴィア・マケドニア共和国	300
国際学部 教授 マイケル・ゴーマン	Beyond Cli-Fi: Expanding the Boundaries of American Climate Literature	900
国際学部 教授 寺田 英子	ASEAN時代のロジスティクス構築戦略に関する研究	1,200
国際学部 教授 李 在鎬	自動車産業の電動化の移行期におけるバリューチェーンと企業間分業～日中韓の比較～	1,200
国際学部 准教授 卜部 匡司	三分岐型から二分岐型への中等学校制度改革に伴うドイツ教育評価制度の再編と機能変容	600
国際学部 准教授 大場 静枝	フランス・ブルターニュ地方における近現代の文芸運動とナショナリズム	500
国際学部 准教授 城多 努	芸術文化団体の経営力向上を目指した会計情報活用研究	1,100
国際学部 准教授 倉科 一希	米・西独間における核兵器共有問題の沈静化と国際認識の乖離	800
国際学部 准教授 古澤 嘉朗	平和構築の力学と国家に関する研究:サブサハラ・アフリカの事例に着目して	800
国際学部 講師 武田 悠	原子力の国際管理と日本:プルトニウム国際貯蔵構想の挫折、1978-1982	900
国際学部 名誉教授 曾根 幹子	オリンピックの出征と戦争体験が戦後のスポーツ界の復興・再建過程に与えた影響	1,800
情報科学研究科 教授 石田 賢治	異種混合ネットワークにおける多次元情報逗留技術	1,100
情報科学研究科 教授 岩城 敏	生活環境内日用品をワンドラッグで把持可能な介護支援ロボット操作用インタフェース	700
情報科学研究科 教授 高野 知佐	大規模社会ネットワーク分析におけるリンクの疎構造を利用した多項式時間解法の開発	1,200
情報科学研究科 教授 鷹野 優	蛋白質構造形成に関する高次構造依存性の解明および新規分子力場の開発	700
情報科学研究科 教授 高濱 徹行	高次元多峰性問題における山谷構造と分布タイプ推定を利用した効率的な集団的最適化	700
情報科学研究科 教授 田中 輝雄	多価確率微分方程式に対する確率制御理論の構築と展開	400
情報科学研究科 教授 田村 慶一	実世界情報分析のための時空間データマイニングに関する研究	800
情報科学研究科 教授 永山 忍	次世代車載ネットワークへの不正侵入を高速に検知する自己学習型システムの開発	800

情報科学研究科 教授	弘中 哲夫	深層学習を用いた配置配線手法の研究	500
情報科学研究科 教授	藤坂 尚登	量子ドット結合系の非線形確率常微分方程式による記述と大容量THz無線通信の検討	1,100
情報科学研究科 教授	前田 香織	通信品質を考慮するサイバー攻撃防御システムに関する研究	1,400
情報科学研究科 教授	松原 行宏	力覚提示および擬似力覚提示機能を持つ学習支援システムの開発と比較研究	1,300
情報科学研究科 教授	李 仕剛	注視情報から意図を推定する「人馬一体」型の車いすロボットの開発	1,600
情報科学研究科 准教授	市原 英行	ストカスティックコンピューティング回路のための高位合成手法に関する研究	800
情報科学研究科 准教授	井上 博之	車載システムの動的フィルタリング機構およびファジングテスト手法の実用化	900
情報科学研究科 准教授	内田 智之	大規模グラフ構造圧縮データに対する並列グラフマイニングシステムの開発	900
情報科学研究科 准教授	小野 貴彦	IoT技術の活用による救急車の制振性の向上に関する研究	500
情報科学研究科 准教授	小畑 博靖	現象数理学に基づく無線LAN通信品質のモデル化技術	900
情報科学研究科 准教授	梶山 朋子	潜在顧客の感情の推移を考慮した商品推薦提示手法	1,100
情報科学研究科 准教授	釘宮 章光	網羅的に病態の診断が可能なアミノ酸計測用小型装置の開発	1,100
情報科学研究科 准教授	串田 淳一	進化計算を用いたAdversarial	600
情報科学研究科 准教授	河野 英太郎	大規模ネットワークへの拡張を可能とする高速Bluetooth MANET構成法	1,000
情報科学研究科 准教授	齋藤 夏雄	正標数の代数的閉体上で定義されたファノ多様体についての研究	700
情報科学研究科 准教授	双紙 正和	モバイルアドホックネットワークにおける移動体の経路認証と管理	800
情報科学研究科 准教授	高橋 賢	準天頂測位衛星「みちびき」から放送される災害・危機通報の移動受信方法	1,300
情報科学研究科 講師	岡本 勝	実際の実験器具を用いたAR型化学学習支援	900
情報科学研究科 講師	神尾 武司	強化学習ベース多船航路探索法における行動表現の高度化	800
情報科学研究科 講師	香田 次郎	バイオディーゼル燃料洗浄廃水から調製した液体肥料の微生物増殖抑制に関する研究	1,600
情報科学研究科 講師	常盤 達司	立位姿勢制御における前庭覚の役割を段階的・定量的に解明する新規な評価法の開発	1,600
情報科学研究科 講師	長谷川 義大	末梢気道での呼吸計測を可能にする局所的肺機能計測システム技術の開発	1,000
情報科学研究科 講師	馬場 雅志	光の散乱・吸収を考慮した海中動画像の色補正と物体形状復元	700
情報科学研究科 助教	岩垣 剛	確率的演算に基づく非同期式回路の設計と高信頼化に関する研究	1,000
情報科学研究科 助教	川本 佳代	キットビルド方式に基づく学習支援システムによる論理的思考力の育成	500
情報科学研究科 助教	鈴木 祐介	多様な付加情報を活用したグラフ構造データに対する高性能グラフマイニング手法の開発	1,000
芸術学部	准教授 石松 紀子	脱植民地期の東南アジアにおける美術形成プロセスの検証—旧英国植民地3国をとおして	1,000
平和研究所	教授 沖村 理史	パリ合意の実効性—京都議定書後継枠組みの行方	600
平和研究所	特任教授 佐藤 哲夫	国際公益機関としての国際組織やNGOなどの活動を規律する原則と実施の仕組みの研究	1,100

④ 若手研究(B) 3件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 山根 史博	原発災害の不確実性に対する人々の不安(厚生損失)形成メカニズムの実証的解明	300
国際学部 講師 目黒 紀夫	伝統をめぐるマサイの「ポジショニング」の多様性と可能性	600

情報科学研究科 講師	岡山 友昭	Sinc法の再定式化と応用拡大	600
------------	-------	-----------------	-----

⑤ 若手研究 8件 単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)		研究課題名	交付決定額
国際学部	准教授 高久 賢也	新興国における国際資本フローと資本規制の有効性に関する理論的研究	500
国際学部	講師 斎藤 祥平	亡命ロシア人とユーラシア主義:「マイノリティ」と広域思想の関係の解明	900
国際学部	講師 原 雅樹	トマス・ハーディの小説における賭博表象の倫理的な意義に関する研究	400
情報科学研究科	助教 小林 真	田渉除去技術を用いた複数端末連携による高信頼・低遅延無線ネットワーク構築	500
情報科学研究科	助教 高橋 雄三	仮現運動による視知覚空間の歪みを是正するインタフェース・デザインに関する研究	900
芸術学部	助教 古賀 くらら	『原爆の図』の技法材料と絵画表現 ー第1部《幽霊》を主としてー	1,700
平和研究所	准教授 河 昶珍	戦後PRの歴史的変容に関する研究:言説と表象の比較的分析を通じて	1,000
企画室	特任助教 山咲 博昭	日本の大学における内部質保証システムを推進する人材のあり方に関する研究	1,200

⑥ 研究活動スタート支援 1件 単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)		研究課題名	交付決定額
情報科学研究科	助教 小林 真	干渉除去技術を用いた高信頼低遅延無線ネットワーク構築に関する研究	1,100

67 件 79,900 千円

基盤研究:1人で行う研究または複数の研究者が共同して行う創造的・先駆的な研究

若手研究(B):39歳以下の研究者が1人で行う研究

若手研究:博士の学位取得後8年未満の研究者が1人で行う研究

研究活動スタート支援:我が国の研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰した研究者等が行う研究

⑦ 2020年度科学研究費補助金採択状況（公立大学分）

（新規採択＋継続分）

○交付決定件数順

（金額単位：千円）

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
1	名古屋市立大学	537	744,840	220,500	965,340
2	大阪市立大学	525	898,700	263,088	1,161,788
3	東京都立大学	461	849,800	244,590	1,094,390
4	大阪府立大学	391	965,784	281,520	1,247,304
5	横浜市立大学	389	645,750	191,175	836,925
6	京都府立医科大学	330	505,350	151,545	656,895
7	福島県立医科大学	278	343,570	99,701	443,271
8	兵庫県立大学	255	479,100	142,560	621,660
9	札幌医科大学	245	312,340	92,190	404,530
10	奈良県立医科大学	230	328,300	98,490	426,790
11	和歌山県立医科大学	199	238,060	71,418	309,478
12	静岡県立大学	165	259,400	77,460	336,860
13	滋賀県立大学	110	121,500	35,880	157,380
14	秋田県立大学	94	137,981	39,735	177,716
15	県立広島大学	94	91,400	27,420	118,820
16	京都府立大学	93	157,870	45,390	203,260
17	愛知県立大学	92	84,400	25,110	109,510
18	富山県立大学	86	140,660	40,920	181,580
19	高知工科大学	78	145,050	43,305	188,355
20	九州歯科大学	75	93,810	28,140	121,950
21	北九州市立大学	74	95,116	28,535	123,650
22	広島市立大学	70	92,200	27,000	119,200
23	岡山県立大学	59	56,800	16,800	73,600
24	高知県立大学	57	67,700	20,310	88,010
25	岩手県立大学	56	41,000	12,300	53,300
26	岐阜薬科大学	54	87,700	23,280	110,980
27	宮城大学	48	80,340	24,102	104,442
28	島根県立大学	47	32,700	8,940	41,640
29	福井県立大学	43	56,200	16,590	72,790
30	神戸市外国語大学	43	42,500	12,750	55,250
31	茨城県立医療大学	41	36,110	10,350	46,460
32	熊本県立大学	39	48,000	13,770	61,770
33	福岡県立大学	38	31,700	9,510	41,210
34	山陽小野田市立山口東京理科大学	35	30,700	9,000	39,700
35	札幌市立大学	32	38,800	12,270	51,070
36	神奈川県立保健福祉大学	32	33,500	10,050	43,550
37	長崎県立大学	32	35,700	10,710	46,410
38	神戸市看護大学	32	27,600	8,280	35,880
39	都留文科大学	31	26,100	6,900	33,000
40	高崎経済大学	30	28,300	8,490	36,790
41	会津大学	29	28,500	7,740	36,240
42	公立はこだて未来大学	29	43,600	12,510	56,110
43	山口県立大学	28	25,200	7,020	32,220
44	千葉県立保健医療大学	28	18,820	5,646	24,466
45	山梨県立大学	28	31,300	9,000	40,300
46	石川県立大学	28	52,500	15,540	68,040
47	公立小松大学	28	36,205	10,862	47,067
48	福岡女子大学	28	23,300	6,990	30,290
49	石川県立看護大学	26	29,500	8,850	38,350
50	京都市立芸術大学	26	26,800	7,590	34,390
51	埼玉県立大学	26	29,800	8,280	38,080
52	三重県立看護大学	24	21,280	5,700	26,980
53	静岡文化芸術大学	23	17,500	5,250	22,750

○交付決定件数順

(金額単位：千円)

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
54	長野県看護大学	22	23,200	6,960	30,160
55	新潟県立大学	21	27,380	7,710	35,090
56	大分県立看護科学大学	21	21,400	6,420	27,820
57	福山市立大学	20	20,100	6,030	26,130
58	群馬県立県民健康科学大学	19	19,100	5,730	24,830
59	新潟県立看護大学	19	17,600	5,280	22,880
60	香川県立保健医療大学	18	16,098	4,768	20,866
61	前橋工科大学	18	16,700	5,010	21,710
62	青森県立保健大学	17	17,850	5,355	23,205
63	長野県立大学	16	15,700	4,710	20,410
64	山形県立保健医療大学	15	8,400	2,040	10,440
65	名寄市立大学	14	11,900	3,570	15,470
66	愛媛県立医療技術大学	14	13,600	4,080	17,680
67	岐阜県立看護大学	14	8,500	2,550	11,050
68	東京都立産業技術大学院大学	12	12,750	3,495	16,245
69	公立鳥取環境大学	12	11,300	3,390	14,690
70	尾道市立大学	12	8,900	2,670	11,570
71	下関市立大学	12	8,400	2,520	10,920
72	沖縄県立芸術大学	12	9,000	2,700	11,700
73	国際教養大学	12	11,900	3,570	15,470
74	公立千歳科学技術大学	11	79,800	3,420	83,220
75	宮崎県立看護大学	11	9,000	2,700	11,700
76	釧路公立大学	11	8,950	2,685	11,635
77	新見公立大学	11	8,600	2,580	11,180
78	愛知県立芸術大学	10	16,300	3,870	20,170
79	名桜大学	10	7,200	2,160	9,360
80	群馬県立女子大学	10	6,100	1,830	7,930
81	長野大学	9	8,160	2,382	10,542
82	宮崎公立大学	9	5,600	1,680	7,280
83	秋田公立美術大学	8	6,400	1,920	8,320
84	金沢美術工芸大学	8	5,900	1,770	7,670
85	沖縄県立看護大学	7	6,200	1,860	8,060
86	山形県立米沢栄養大学	6	4,900	1,470	6,370
87	敦賀市立看護大学	5	6,600	1,980	8,580
88	長岡造形大学	4	4,800	1,290	6,090
89	公立諏訪東京理科大学	4	7,800	2,340	10,140
90	青森公立大学	4	4,410	1,323	5,733
91	奈良県立大学	4	1,700	510	2,210
92	福知山公立大学	3	1,643	450	2,093
93	情報科学芸術大学院大学	1	1,500	450	1,950

※2020年度、日本学術振興会から交付決定された内定情報が対象(当年度の転出情報を含む。転入情報は含まない。)

(5) 研究開発費助成制度等の採択状況

《2020 年度》

◆2020 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 前田 香織

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）

（2017 年度から 5 年間）

2020 年度：9,085,000 円

◆2020 年度日本中央競馬会畜産振興事業（農林水産省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 教授 石光 俊介

研究課題：豚呼吸器病早期発見のための AI 耳標センサ研究開発

（2020 年度から 3 年間）

2020 年度：15,111,000 円

◆2020 年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業（経済産業省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 教授 田中 宏和

研究課題：ウェアラブルセンサ信号のコンテナフォーマットに関する国際標準化

（2020 年度から 3 年間）

2020 年度：6,940,560 円

◆人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業／実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発（経済産業省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 准教授 古川 亮

研究課題：医用画像向け準汎用学習済みモデルの構築

（2020 年度から 2 年間）

2020 年度：11,034,000 円

《2019 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業（総務省）

【2018 年度採択】

情報科学研究科 教授 田中 宏和

研究課題：干渉コーディネーションによる高信頼な医療・ヘルスケア BAN 構築に向けた研究開発

（2018 年度から 2 年間）

2019 年度：8,434,351 円

◆2019 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

（2015 年度から 5 年間）

2019 年度：20,232,000 円

◆2019 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
（2017 年度から 5 年間）

2019 年度：9,825,000 円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
（2014 年度から 9 年間）

2019 年度：6,045,000 円

《2018 年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【2015 年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優

研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明
（2015 年度から 5 年間）

2018 年度：8,710,000 円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
（2014 年度から 9 年間）

2018 年度：6,045,000 円

◆2018 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
（2017 年度から 5 年間）

2018 年度：8,152,000 円

◆2018 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
（2015 年度から 5 年間）

2018 年度：38,374,000 円

《2017 年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【2015 年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優
研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明
(2015 年度から 5 年間)

2017 年度：8,710,000 円

◆センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム (文部科学省)

【2014 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸
プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
(2014 年度から 9 年間)

2017 年度：7,995,000 円

◆2017 年度研究拠点形成費等補助金 (文部科学省)

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明
プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT-Pro)
(2017 年度から 5 年間)

2017 年度：10,578,000 円

◆2017 年度大学改革推進等補助金 (大学改革推進事業) (文部科学省)

【2015 年度採択】

プログラム名：地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業
(2015 年度から 5 年間)

2017 年度：50,464,000 円

《2016 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業 [地域 ICT 型研究開発] (総務省)

【2015 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣
研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発
(2015 年度から 2 年間)

2016 年度：5,252,000 円

◆2016 年度大学間連携共同教育推進事業運営交付金 (文部科学省)

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝
研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2016 年度：6,408,000 円

◆2016 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業 (広島県)

【2016 年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝
プログラム名：ひろしま医工学ウィンタースクール

2016 年度 : 4,440,000 円

◆2016 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
（2015 年度から 5 年間）

2016 年度 : 46,798,000 円

《2015 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【2015 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣

研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

2015 年度 : 2,028,000 円

◆2015 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（2012 年度から 5 年間）

2015 年度 : 9,750,000 円

◆2015 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
（2013 年度から 3 年間）

2015 年度 : 4,207,000 円

◆2015 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
（2015 年度から 5 年間）

2015 年度 : 52,513,000 円

《2014 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
（2013 年度から 2 年間）

2014 年度 : 9,243,000 円

◆2014 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2014 年度：12,600,000 円

◆2014 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013 年度から 3 年間)

2014 年度：4,207,000 円

《2013 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

研究課題：アシュアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用システムの研究開発

2013 年度：4,596,800 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
(2013 年度から 2 年間)

2013 年度：11,350,300 円

◆2013 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2013 年度：14,000,000 円

◆2013 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013 年度から 3 年間)

2013 年度：6,390,000 円

《2012 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【2010 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮
研究課題：4次元メディアシステムの研究開発
(2010 年度から 3 年間)

2012 年度：8,320,000 円

◆2012 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治
研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2012 年度：13,000,000 円

《2011 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【2010 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮
研究課題：4次元メディアシステムの研究開発
(2010 年度から 3 年間)

2011 年度：7,540,000 円

◆2011 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【2011 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学
研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

2011 年度：23,000,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【2009 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学
委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
(2009 年度から 3 年間)

2011 年度：6,763,100 円

(6) FD・SD活動実施状況(2020年度)

内 容	年月日	テーマ/講師
新任教職員FD・SD研修会 ①参加者数：19名 ②場所：大会議室	2020年4月6日 ～4月7日	理事長講話/若林真一理事長 大学紹介/渡辺智恵理事 事務局の概要/大田主査 学内視察
前期授業アンケート ①受講登録者数：17,190人 ②回答者数：7,240人 (回答率：42.1%)	2020年6月22日 ～9月30日	
オンライン授業支援ガイダンス ①参加者数：117人 ②場所：オンライン	2020年4月20日	情報科学研究科 教授 前田香織 教授 鷹野優 講師 上土井陽子 准教授 小畑博靖 教授 弘中哲夫
高等教育の質保証で求められる取組の紹介及び本学の質保証に関する取組の現状について ①参加者数：8名 ②場所：オンライン	2020年6月1日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治
高等教育の質保証で求められる取組の紹介及び本学の質保証に関する取組の現状について ①参加者数：17名 ②場所：大会議室	2020年6月26日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治
カリキュラムアセスメントの導入と方法及び本学の3ポリシーの状況について(講義) ①参加者数：37名 ②場所：オンライン	2020年7月31日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治
ディプロマ・ポリシーの点検について ①参加者数：29名 ②場所：食堂	2020年7月31日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治
ハラスメント防止eラーニング研修 ①参加者数：311名 ②場所：オンライン	2020年8月1日 ～9月10日	(株)FOURBRAIN 研修事業部 宇野顕二郎
ICTを活用した業務の効率化動向に関する説明会 ①参加人数：15名 ②場所：大会議室	2020年8月20日	(株)エネルギー・コミュニケーションズ職員
カリキュラム・ポリシーの点検及びカリキュラムの策定について(WS) ①参加者数：33名 ②場所：食堂	2020年9月18日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治
令和2年度 科研費・外部資金獲得セミナー ①参加人数：82名 ②場所：オンライン	2020年9月24日	副学長(企画・戦略担当) 石田賢治 国際学部教授 卜部匡司 情報科学研究科教授 永山忍 社会連携センター長 竹澤寿幸
シラバスの点検及びカリキュラムマップの策定について(WS) ①参加者数：34名 ②場所：情報科学部棟別館 409会議室	2020年10月19日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治

内 容	年月日	テーマ／講師
ループリック評価セミナー ①参加者数：40名 ②場所：オンライン	2020年10月30日	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 講師 竹中喜一
予算管理・執行管理に関する事務 担当者研修会 ①参加者数：54人 ②場所：オンライン	2020年10月30日	総務室経営グループ職員
職員倫理研修 ①参加者数：116人 ②場所：オンライン	2020年11月2日 ～12月4日	広島市人事課職員
後期授業アンケート ①受講登録者数：15,060人 ②回答者数：4,701人 (回答率：31.2%)	2020年11月11日～ 2021年2月19日	
カリキュラムアセスメントチェック リストの策定及びアセスメントツ ール(ループリック等)の策定につい て(WS) ①参加者数：32名 ②場所：食堂	2020年11月27日	岡山理科大学 副学長・教授 秦敬治
防火・防災訓練(危機管理研修) ①参加者数：165人 ②場所：オンライン	2020年11月27日 ～2021年1月31日	安佐南消防署予防課 吉川課長補佐
情報セキュリティ研修2020－日常 に潜むサイバー犯罪－ ①参加者数：45人 ②場所：オンライン	2020年12月9日	広島県警察本部 サイバー犯罪対策課サイバー犯罪対策係
本学における「発明」、「著作 物」の取扱い ①参加者数：51人 ②場所：オンライン	2021年2月16日 ～3月31日	社会連携センター 特任講師 島筒博章
心と身体の相談センターの活動及 び配慮を要する学生の支援につい て ①参加者数：22人 ②場所：オンライン	2021年3月5日	心と身体の相談センター カウンセラー 今江秀和
COC+事業の実施報告－これから の地域志向教育に向けて－ ①参加者数：74名 ②場所：オンライン	2021年3月22日	社会連携センター 特任教授 國本善平

3 入学者選抜

(1) 入学者選抜の概要

ア 学部（2022年度入試）

◇一般選抜

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
前期日程	60	国際学部	総合問題	本学が指定する科目について大学入学共通テストの受験を課す。
	120	情報科学部	数学	
	45	芸術学部 美術学科日本画専攻 油絵専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
後期日程	15	国際学部	小論文	
	35	情報科学部	数学	
	17	芸術学部 美術学科彫刻専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
合計	292	(内訳 国際学部 75 情報科学部 155 芸術学部 62)		

◇特別選抜

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考	
総合型選抜	5	国際学部	1次選考（書類審査） 2次選考（小論文、面接）		
	5	情報科学部	1次選考（書類審査） 2次選考（総合問題、面接）		
	18	芸術学部 美術学科日本画専攻 油絵専攻 彫刻専攻	提出書類、 本選考（小論文、実技検査、面接）		
		芸術学部 デザイン工芸学科	提出書類、 本選考（小論文、課題作品、面接）		
学校推薦 型選抜	市内公募	10	国際学部	市内公募：入学時の1年以上前から広島市に住所を有している者	
	全国公募				小論文、面接
	市内公募	25	情報科学部		総合問題、面接・出願書類
	全国公募				
外国人留学生選抜	若干名	国際学部	小論文、面接	本学が指定する科目について日本留学試験の受験を課す。	
	若干名	情報科学部	数学、面接		
	若干名	芸術学部	実技検査、面接		
合計	98	(内訳 国際学部 25 情報科学部 55 芸術学部 18)			

イ 大学院（2022年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考
博士前期課程	15	国際学研究科	小論文、口述試験	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
	47	情報科学研究科	外国語、数学、データ構造とアルゴリズム、面接 ※実施科目は全専攻で統一	
	30	芸術学研究科	外国語 作品提出又は論文 研究計画書 実技、プレゼンテーション又は筆記試験 口述試験 ※実施科目は志望研究領域によって異なる	
	10	平和学研究科	小論文、口述試験	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
博士後期課程	7	国際学研究科	口述試験	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
	28	情報科学研究科	専門科目、口述試験	
	6	芸術学研究科	外国語、作品提出、口述試験、小論文	
	4	平和学研究科	口述試験	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
合計	147	(内訳 博士前期課程 102 博士後期課程 45)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考	
博士前期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	口述試験	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	面接	
		若干名	平和学研究科	口述試験	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
		若干名	情報科学研究科	書類選考、面接	
	海外在住者対象外国人留学生入試	若干名	国際学研究科	口述試験	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
	外国人留学生入試	若干名	平和学研究科	書類選考、面接	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
	推薦入試	若干名	国際学研究科	口述試験	
		37	情報科学研究科	面接	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
	博士後期課程	社会人入試	若干名	情報科学研究科	口述試験
海外学術交流協定大学推薦入試		若干名	国際学研究科	書類選考	2021年10月入学有り(募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	書類選考、面接	2021年10月入学のみ(募集人員:若干名)
合計	37+若干名 (内訳 博士前期課程 37+若干名 博士後期課程 若干名)				

(2) 入学者選抜実施状況 (2021年度入試)

ア 学部1年次入学

・入学者選抜実施状況

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)	
国際学部	国際学科	人 100	人 392	人 271	人 123	人 111	倍 2.2	
情報科学部	情報工学科	210	1,445	941	259	228	3.6	
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	27	27	13	10	2.1
		油絵専攻	20	77	74	27	20	2.7
		彫刻専攻	10	20	19	13	11	1.5
	デザイン工芸学科	40	222	187	46	41	4.1	
	計	80	346	307	99	82	3.1	
合 計		390	2,183	1,519	481	421	3.2	

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学 部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒・他
国際学部	人 111	人 21	人 90	人 39	人 22	人 50	人 107	人 4
情報科学部	228	191	37	78	46	104	203	25
芸術学部	82	21	61	16	6	60	59	23
合 計 (構成比)	421	233 (55.3%)	188 (44.7%)	133 (31.6%)	74 (17.6%)	214 (50.8%)	369 (87.6%)	52 (12.4%)

イ 大学院（博士前期課程 2021年4月入学分）

・ 入学者選抜実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究所	国際学専攻	人 15	人 7 (5)	人 7 (5)	人 6 (4)	人 6 (4)
情報科学研究科	情報工学専攻	23	24 (0)	24 (0)	24 (0)	21 (0)
	知能工学専攻	23	26 (0)	24 (0)	24 (0)	22 (0)
	システム工学専攻	23	28 (1)	28 (1)	27 (1)	26 (1)
	医用情報科学専攻	15	9 (0)	8 (0)	8 (0)	8 (0)
	計	84	87 (1)	84 (1)	83 (1)	77 (1)
芸術学研究所	造形芸術専攻	30	32 (12)	30 (11)	26 (8)	24 (7)
平和学研究所	平和学専攻	10	8 (3)	8 (3)	8 (3)	4 (2)
合 計		139	134 (21)	129 (20)	123 (16)	111 (14)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究所、情報科学研究科及び平和学研究所の募集人員は、2020年10月入学分を含む。

・ 入学者の男女別、出身大学別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学		卒業年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究所	人 6	人 2	人 4	人 3	人 3	人 4	人 2
情報科学研究科	77	68	9	72	5	74	3
芸術学研究所	24	10	14	15	9	16	8
平和学研究所	4	3	1	-	4	-	4
計	111	83	28	90	21	94	17

ウ 大学院（博士後期課程 2021年4月入学分）

・ 入学者選抜実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究所	国際学専攻	人 7	人 1 (1)	人 1 (1)	人 1 (1)	人 1 (1)
情報科学研究科	情報科学専攻	28	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
芸術学研究所	総合造形芸術専攻	6	8 (2)	8 (2)	7 (2)	7 (2)
平和学研究所	平和学専攻	4	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
合 計		45	13 (5)	13 (5)	12 (5)	12 (5)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究所及び情報科学研究科の募集人員は、2020年10月入学分を含む。

・ 入学者の男女別、出身大学院別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学院		修了年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究所	人 1	人 -	人 1	人 -	人 1	人 1	人 -
情報科学研究科	1	1	-	1	-	1	-
芸術学研究所	7	2	5	7	-	7	-
平和学研究所	3	3	-	-	3	-	3
計	12	6	6	8	4	9	3

(3) 年次別競争率等 (2012年度～2021年度入試)

ア 年次別競争率

(単位：倍)

区 分		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
国際学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5.0
	学校推薦型選抜	2.3	2.2	1.9	1.9	2.0	2.4	2.1	2.3	1.9	2.4
	一般選抜 前期日程	1.9	3.3	2.3	3.0	2.1	3.3	3.3	2.0	2.3	2.0
	一般選抜 後期日程	3.8	5.3	3.3	4.1	4.0	5.5	6.7	3.7	4.8	1.7
情報科学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3.2
	学校推薦型選抜	1.7	2.1	1.9	2.1	1.8	1.8	2.2	2.0	2.3	1.8
	一般選抜 前期日程	3.4	3.4	2.4	3.1	2.5	1.8	2.0	2.4	1.9	3.3
	一般選抜 後期日程	4.0	6.7	2.4	4.7	4.0	3.1	3.0	3.6	3.4	6.6
芸術学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3.2
	彫刻専攻 自己推薦入試	4.4	3.8	2.8	3.5	3.0	1.5	3.5	2.3	1.3	/
	一般選抜	2.5	2.4	2.3	3.0	2.8	3.0	2.7	3.0	2.7	3.1

イ 特別入試入学者数

(単位：人)

区 分		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
国際学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6
	学校推薦型選抜	25	22	25	26	25	25	27	27	27	24
	外国人留学生選抜	6	5	7	1	4	9	8	7	4	2
情報科学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5
	学校推薦型選抜	45	49	47	46	44	44	47	46	46	50
	外国人留学生選抜	2	2	2	1	1	1	1	2	3	2
芸術学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	22
	彫刻専攻 自己推薦入試	5	4	4	4	4	4	4	4	4	/
	外国人留学生選抜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
計	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	/	33
	学校推薦型選抜	70	71	72	72	69	69	74	73	73	74
	彫刻専攻 自己推薦入試	5	4	4	4	4	4	4	4	4	/
	外国人留学生選抜	8	7	9	2	5	10	9	9	7	5

ウ 編入学者数

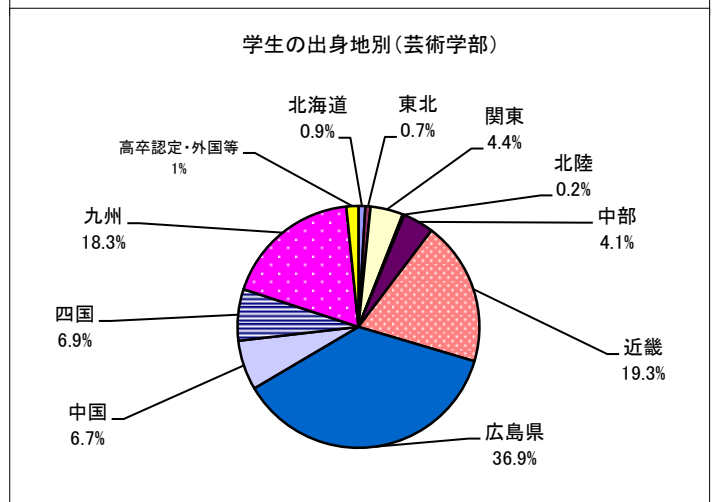
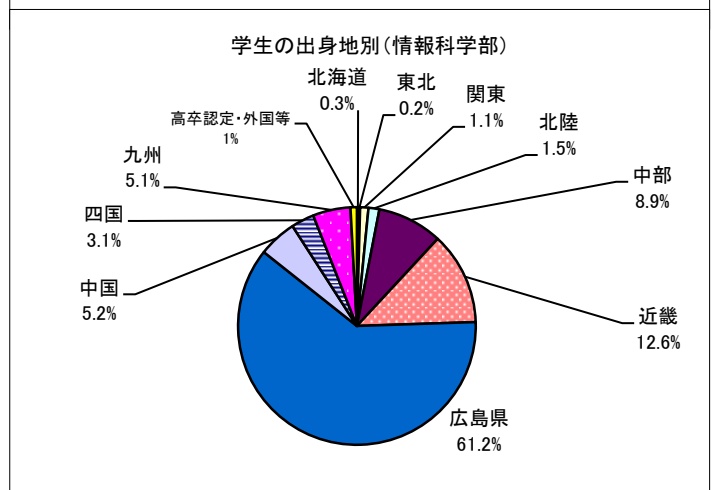
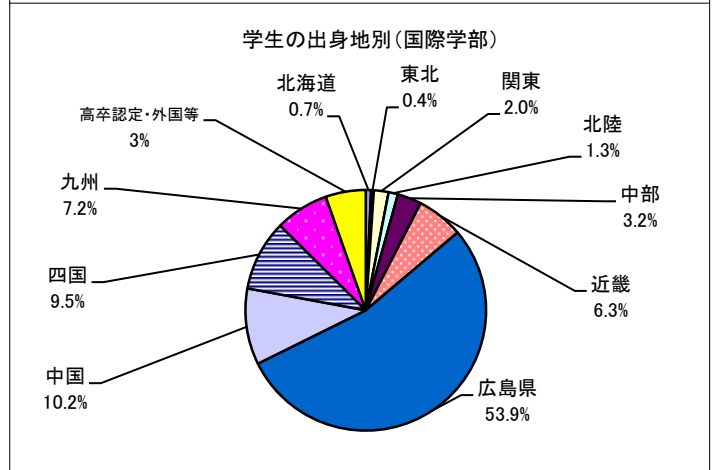
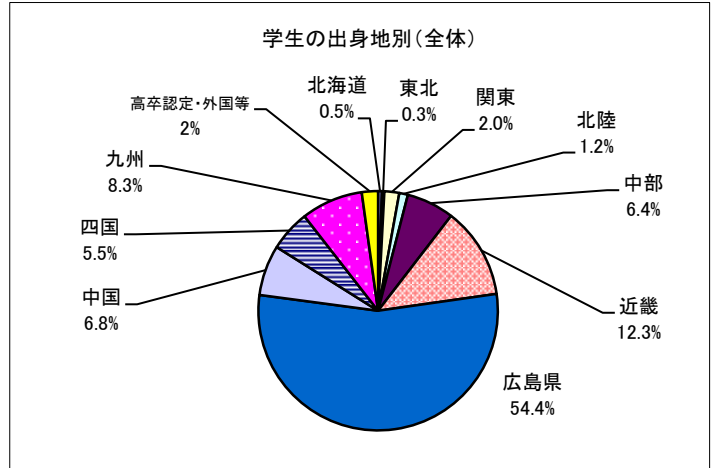
※2021年度入学者選抜から募集停止

(単位：人)

区 分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	/
受験者数	6	1	2	4	1	1	3	1	2	/
入学者数	2	0	1	1	0	0	2	0	1	/

(4) 入学者の状況
出身都道府県別内訳 (2017年度～2021年度 学部)

出身地域	人数	内訳			
		国際学部	情報科学部	芸術学部	
北海道地方	11	4	3	4	
東北地方	青森県	3	0	1	2
	岩手県	3	2	0	1
	宮城県	0	0	0	0
	秋田県	0	0	0	0
	山形県	1	0	1	0
	福島県	0	0	0	0
	小計	7	2	2	3
関東地方	茨城県	7	3	1	3
	栃木県	2	1	1	0
	群馬県	2	0	1	1
	埼玉県	4	2	0	2
	千葉県	3	2	1	0
	東京都	13	2	5	6
	神奈川県	12	1	4	7
小計	43	11	13	19	
北陸地方	新潟県	1	0	1	0
	富山県	3	0	3	0
	石川県	11	4	6	1
	福井県	10	3	7	0
小計	25	7	17	1	
中部地方	山梨県	5	0	4	1
	長野県	8	1	5	2
	岐阜県	15	3	8	4
	静岡県	45	4	34	7
	愛知県	65	10	51	4
小計	138	18	102	18	
近畿地方	三重県	23	2	15	6
	滋賀県	15	4	7	4
	京都府	56	4	25	27
	大阪府	64	9	29	26
	兵庫県	76	10	56	10
	奈良県	18	2	6	10
	和歌山県	12	4	7	1
小計	264	35	145	84	
中国地方	鳥取県	18	5	10	3
	島根県	29	12	15	2
	岡山県	63	31	19	13
	広島県	1,166	300	705	161
	山口県	36	9	16	11
小計	1,312	357	765	190	
四国地方	徳島県	14	7	6	1
	香川県	43	22	9	12
	愛媛県	51	17	20	14
	高知県	11	7	1	3
小計	119	53	36	30	
九州地方	福岡県	64	8	17	39
	佐賀県	11	3	3	5
	長崎県	16	4	6	6
	熊本県	27	6	8	13
	大分県	15	5	9	1
	宮崎県	13	3	6	4
	鹿児島県	24	4	9	11
沖縄県	9	7	1	1	
小計	179	40	59	80	
高卒認定・外国等	47	30	10	7	
合計	2,145	557	1,152	436	



(5) 社会人入試（大学院）の状況

◆ 国際学研究科（2021年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例：ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 情報科学研究科（2021年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 面接

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 平和学研究科（2021年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例：ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 社会人入試による入学者数 (2016～2020 年度)

単位：人

区 分		2016	2017	2018	2019	2020	
国際学研究科	博士前期課程	4月入学	3	2	0	1	3
		10月入学	0	0	1	0	1
情報科学研究科	博士前期課程	4月入学	0	1	0	0	1
		10月入学	0	0	0	0	0
	博士後期課程	4月入学	0	2	1	0	2
		10月入学	0	0	0	0	0
平和学研究科	博士前期課程	4月入学	-	-	-	1	4
		10月入学	-	-	-	0	0

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況

《2020 年度》

※学年は受賞当時

◆印は学生表彰受賞者

学術活動

【国際学部・国際学研究科】

□国際学部 1 年 齋藤穂香

「第 1 回 一文字書展」で入選した。

【情報科学部・情報科学研究科】

◆情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻 1 年 山下浩豊

情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア（CVIM）研究会の「卒論セッション」において、優秀賞を受賞した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 1 年 石崎遥己

国際会議「The Eighth International Symposium on Computing and Networking（CANDAR'20）」において、「CANDAR Outstanding Paper Award」を受賞した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻 1 年 油木悠

Fourth International Symposium on Information and Knowledge Management (ISIKM2020)において、結合音による蝸牛内の重低音再生を利用した自動車内サウンドデザインの研究発表で、Best Presentation Award を受賞した。

◆情報科学部知能工学科 4 年 山本愛海

本学が平成 26 年度から実施している特待生制度において、2 年生から 4 年生までの 3 年間、連続して特待生に選出される業績を残した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻 1 年 土屋和也

◆情報科学部システム工学科 4 年 下家大和

第 19 回キャンパスベンチャーグランプリにおいて、「スマート農業事業「家畜の健康管理システム」」が特別賞(中国経済産業局賞)を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 1 年 山崎樹生

「電子情報通信学会 第 23 回ネットワークソフトウェア研究会」において、「若手研究奨励賞」を受賞した。

- 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻2年 野間崎晃文
「2020年電子情報通信学会ソサイエティ大会ネットワーク技術特別ポスターセッション」において、「ネットワークソフトウェア優秀ポスター賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士後期課程）情報科学専攻3年 岩瀬大佑
「未来博士3分間コンペティション」において、「難聴テレフォン～コミュニケーションの壁をなくす～」のテーマで発表し、特別協賛企業より「マイクロン動画賞」が贈られた。
- 情報科学研究科（博士前期課程）医用情報科学専攻2年 野間颯斗
「第37回『センサ・マイクロマシンと応用システム』シンポジウム」において、「五十嵐賞・奨励賞ファイナリスト」を受賞した。
- 情報科学部システム工学科4年 末宗敬大
「第55回人類動態学会全国大会」において、「優秀発表賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 丸橋悠人
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 山内陽平
「自動車技術会2020年秋季大会」において、「学生ポスターセッション優秀賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）医用情報科学専攻2年 江崎達朗
「第43回日本生体医工学会中国四国支部大会」において、「若手講演奨励賞」を受賞した。

【芸術学部・芸術学研究科】

- ◆芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻1年 松本千里
「六甲ミーツ・アート芸術散歩2020」において「準グランプリ」を受賞した。
- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 松川華子
「第20回佐藤太清賞公募美術展」において、特選福知山市長賞を受賞した。
- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 村上明花里
「第20回佐藤太清賞公募美術展」において、特選横浜賞を受賞した。
- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 松尾奈保
2019年に開催された「第8回ドローイングとは何か」展において、準大賞を受賞し、2020年受賞記念展を開催した。加えて、広島市佐伯区民文化センターでは区民を対象とした絵画指導を行うなど地域貢献にも積極的に携わっている。
- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 田中優菜
「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭第1回アートパラ深川大賞展」において「三井住友あいおい生命賞」を受賞した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 大塚志穂
広島赤十字・原爆病院と本学による選考委員会より「広島赤十字・原爆病院賞」を受賞した。

□芸術学部美術学科日本画専攻4年 森下真帆
「第74回高知県美術展覧会」で「褒状」を受賞した。
「国際瀧富士美術賞」の第41期奨学生に選ばれ、「優秀賞」を受賞した。
「第4回中土佐町立美術館大賞展」において、「優秀賞」を受賞した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 土井紀子
「4×6 Compact Art Competition」と「LIQUITEX THE CHALLENGE」で入選した。

□芸術学部美術学科日本画専攻4年 上本佳奈
「広島県 web 公募美術展」で入選した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 村上明花里
「第22回雪梁舎フィレンツェ賞展」で入選した。

□芸術学部デザイン工芸学科3年 栗根誠一郎
「第63回日本伝統工芸中国支部展」で入選した。

【平和学研究科】

◆平和学研究科（修士課程）平和学専攻2年 小杉拓己
「第7回小田滋賞」の選考の結果、論文が「優秀賞」を受賞した。

課外活動

◆情報科学部知能工学科4年 高路地諒
中国地区大学軟式野球連盟主催の令和元年度春季及び秋季リーグ戦において、両季での準優勝に大きく貢献し、春季リーグ戦では本塁打王に輝き、秋季リーグ戦では、ベストナイン三塁手に選出され、連盟より表彰された。

◆軟式野球部 代表者 情報科学部システム工学科4年 柴田 峻佑（当時主将）
中国地区大学軟式野球連盟主催の令和元年度春季及び秋季リーグ戦において、準優勝、第3位の好成績を残した。秋季リーグでは、プレーオフにて第2代表の座を獲得し、全日本大学軟式野球連盟主催の西日本大学軟式野球選手権大会に中国地区代表として出場した。

社会活動

◆情報科学部知能工学科3年 寺本ちひろ
いちだいピア・サポート活動（通称：いちピア）立ち上げ時のメンバーの一人であり、りっすんポストと呼ばれる掲示板を通じた学生からの悩み相談や、ランチ会などの交流会の企画

運営による学生の居場所づくりなど、いちピア行事の実施に主体的に取り組むとともに、いちピアを学内外に周知するための広報に尽力した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 多々納啓人

広島市内の新型コロナウイルス感染状況の最新情報を発信するポータルサイトを構築した。

5 就職

(1) 就職・進学等

ア 学部別の状況(2020年度)

2021年3月31日現在

(7) 学部生

(単位:名、%)

区 分		(A + C + D) 卒業業者	就職希望者			進学者(C)	進学・就職以外 の者(D)	前 年 度(2020年3月卒)					
			希望者(A)	就職者(B)	就職決定率 (B/A×100)			卒業業者	就職希望者			進学者	進学・就職以外の者
									希望者	就職者	就職決定率		
国際学部	男	31	23	23	100.0	3	5	22	18	18	100.0	2	2
	女	68	59	57	96.6	1	8	100	89	86	96.6	2	9
	計	99	82	80	97.6	4	13	122	107	104	97.2	4	11
情報科学部	男	167	95	94	98.9	65	7	167	106	105	99.1	51	10
	女	45	32	32	100.0	11	2	39	33	33	100.0	6	0
	計	212	127	126	99.2	76	9	206	139	138	99.3	57	10
芸術学部	男	14	3	3	100.0	5	6	15	4	4	100.0	8	3
	女	67	33	29	87.9	14	20	65	32	31	96.9	16	17
	計	81	36	32	88.9	19	26	80	36	35	97.2	24	20
合 計	男	212	121	120	99.2	73	18	204	128	127	99.2	61	15
	女	180	124	118	95.2	26	30	204	154	150	97.4	24	26
	計	392	245	238	97.1	99	48	408	282	277	98.2	85	41

(イ) 大学院生(博士前期課程)

(単位:名、%)

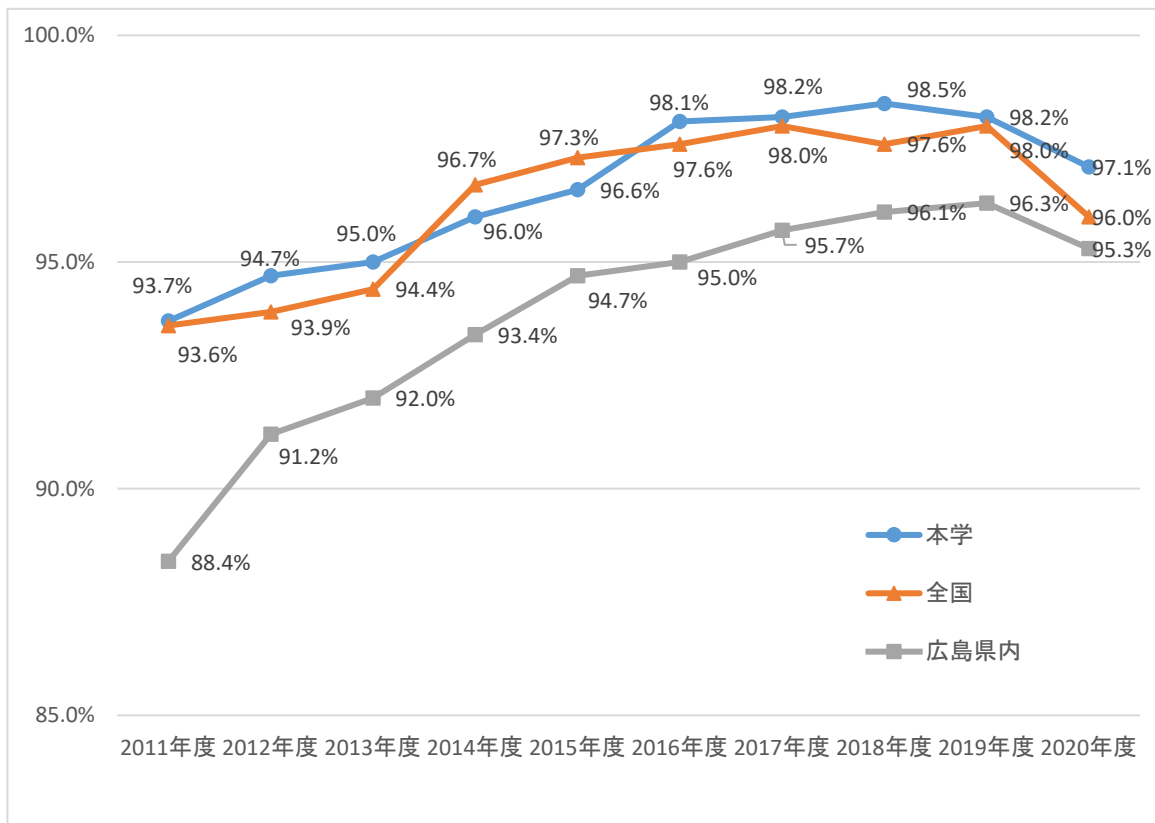
区 分		(A + C + D) 修了業者	就職希望者			進学者(C)	進学・就職以外 の者(D)	前 年 度(2020年3月卒)					
			希望者(A)	就職者(B)	就職決定率 (B/A×100)			修了業者	就職希望者			進学者	進学・就職以外の者
									希望者	就職者	就職決定率		
国際学研究科	男	0	0	0	-	0	0	6	1	1	100.0	0	5
	女	5	3	1	33.3	0	2	2	0	0	-	0	2
	計	5	3	1	33.3	0	2	8	1	1	100.0	0	7
情報科学研究科	男	47	45	45	100.0	1	1	53	53	53	100.0	0	0
	女	9	8	8	100.0	0	1	9	8	8	100.0	1	0
	計	56	53	53	100.0	1	2	62	61	61	100.0	1	0
芸術学研究科	男	6	3	1	33.3	2	1	2	1	1	100.0	0	1
	女	21	10	7	70.0	5	6	16	6	5	83.3	2	8
	計	27	13	8	61.5	7	7	18	7	6	85.7	2	9
平和学研究科	男	1	1	1	100.0	0	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	0	0	-	0	0	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	1	100.0	0	0	-	-	-	-	-	-
合 計	男	54	49	47	95.9	3	2	61	55	55	100.0	0	6
	女	35	21	16	76.2	5	9	27	14	13	92.9	3	10
	計	89	70	63	90.0	8	11	88	69	68	98.6	3	16

(参考)学部生の就職率比較

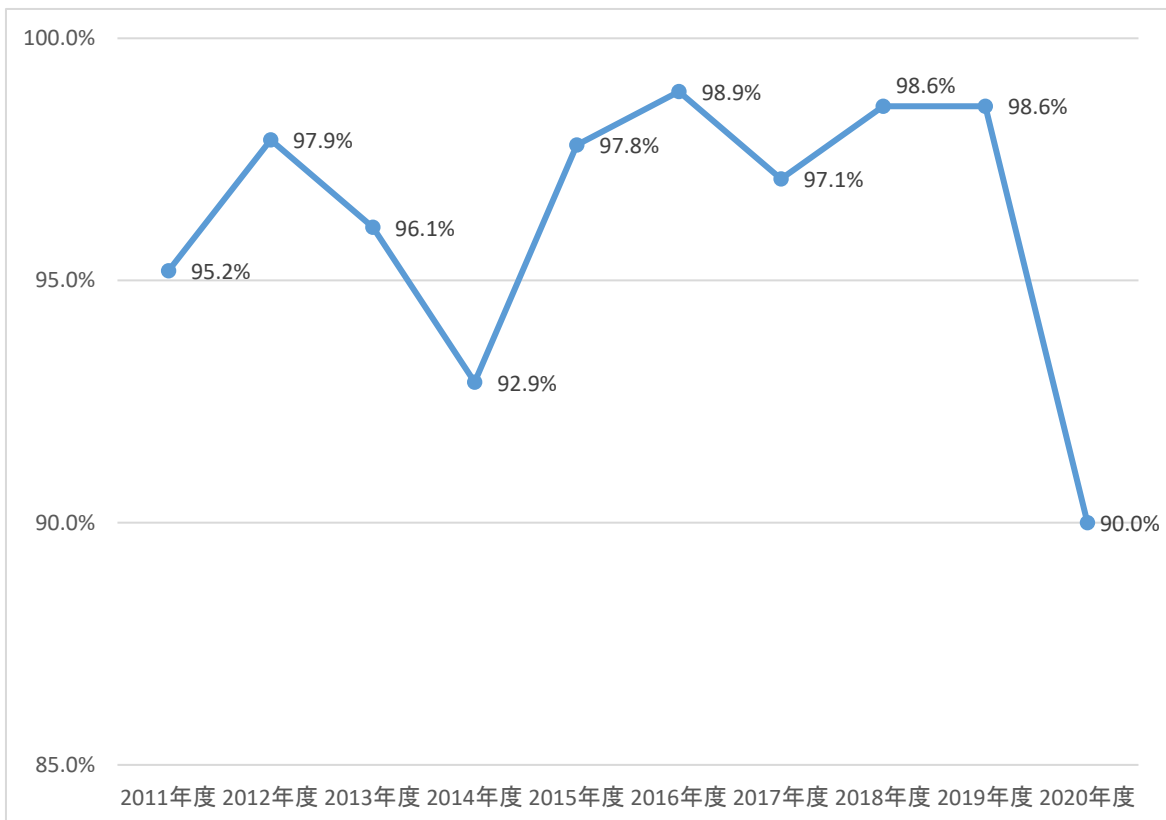
区 分	就職率	備 考
広島市立大学	97.1%	(2021年3月31日現在)
広 島 県	95.3%	広島労働局(2021年3月31日現在)
全 国	96.0%	文部科学省・厚生労働省調査(2021年4月1日現在)

イ 就職率の推移(2011年度～2020年度)

ア) 学部



イ) 大学院

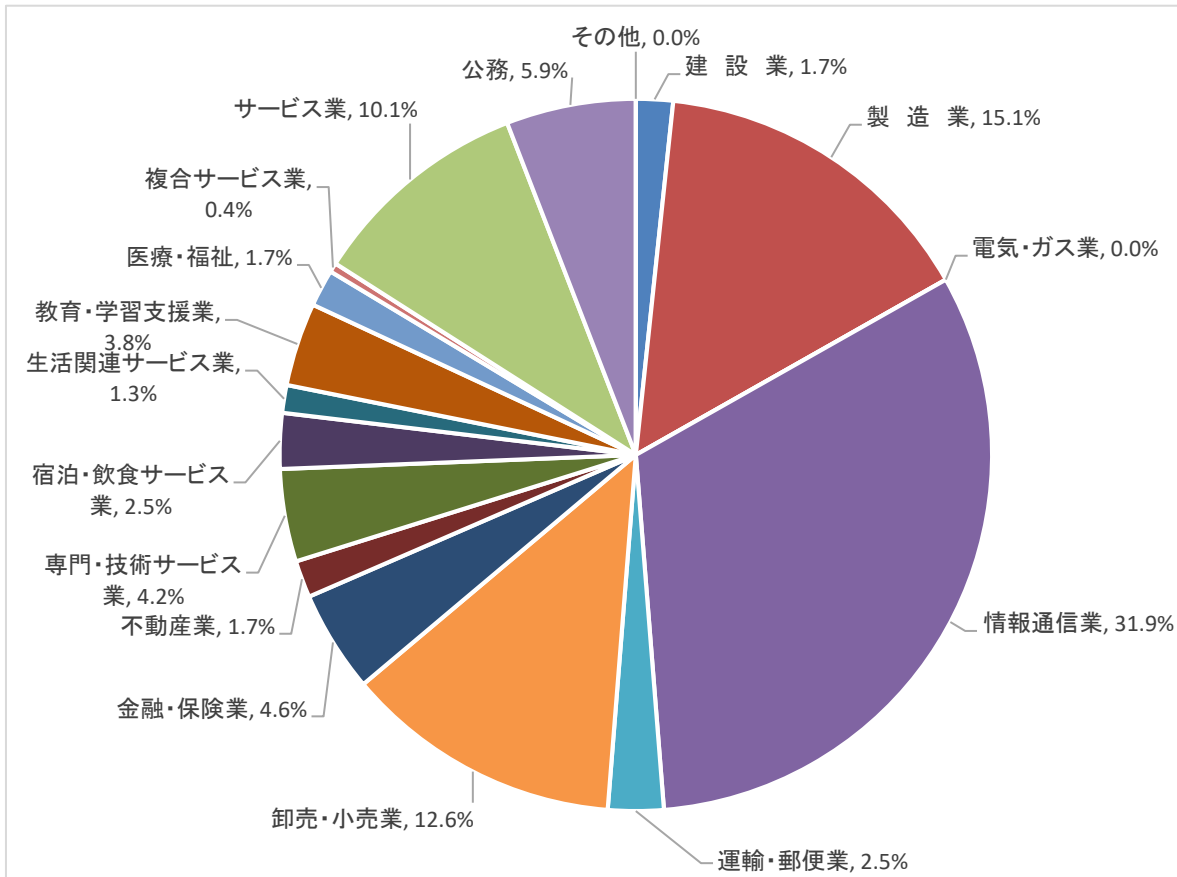


(2) 就職先の構成比

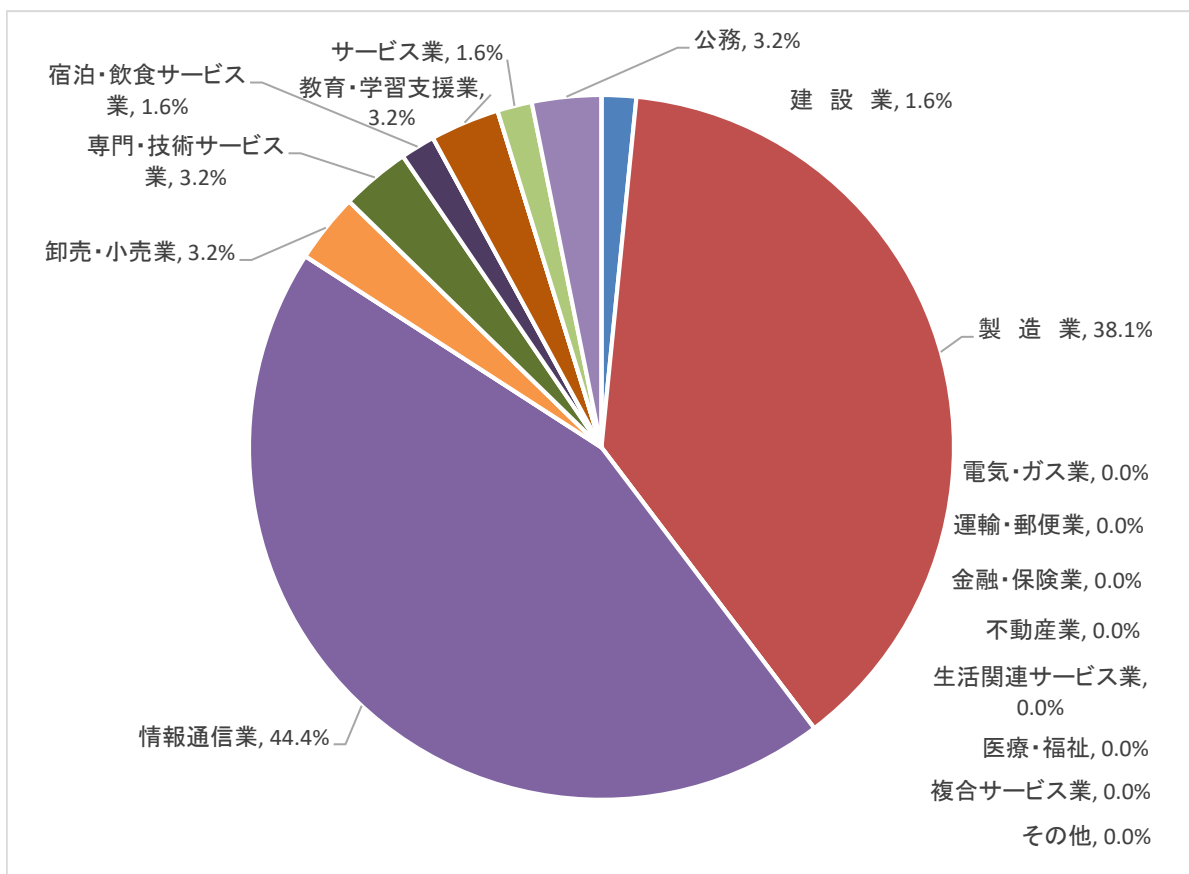
ア 業種別

(ア) 2020年度卒

a 学部(238名)



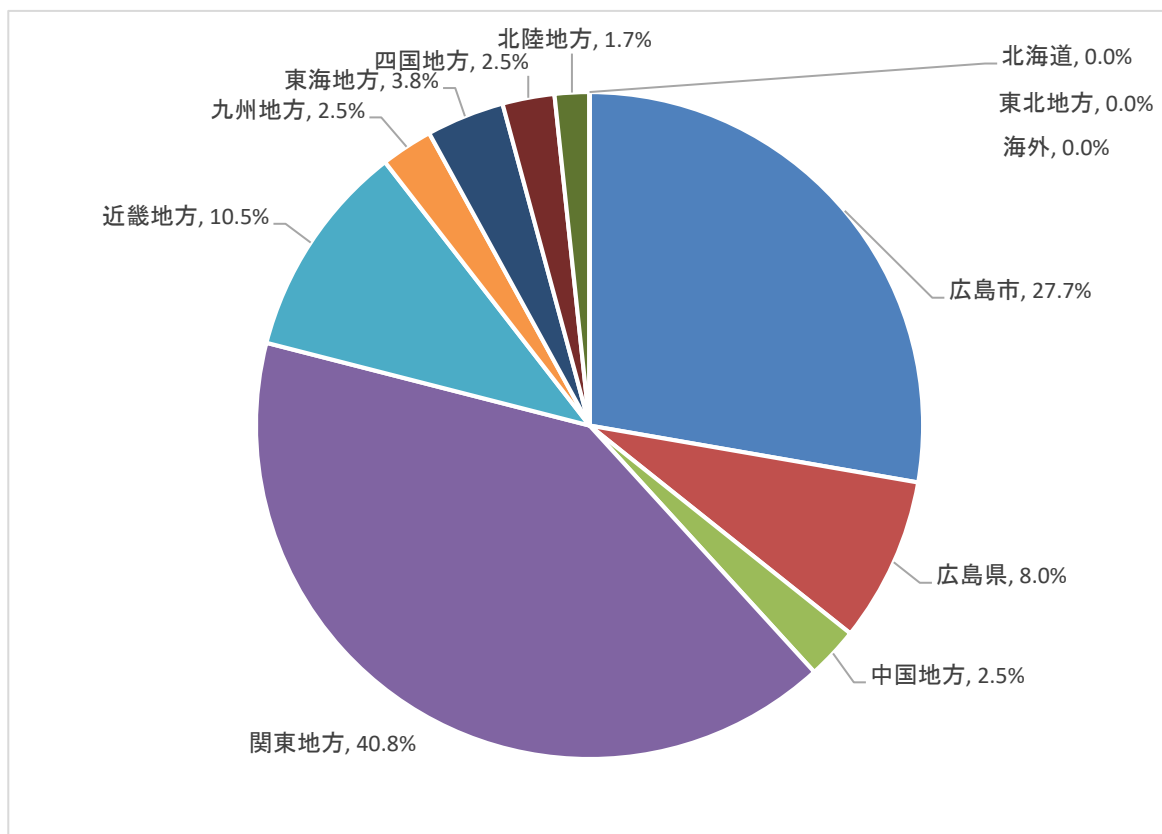
b 大学院(63名)



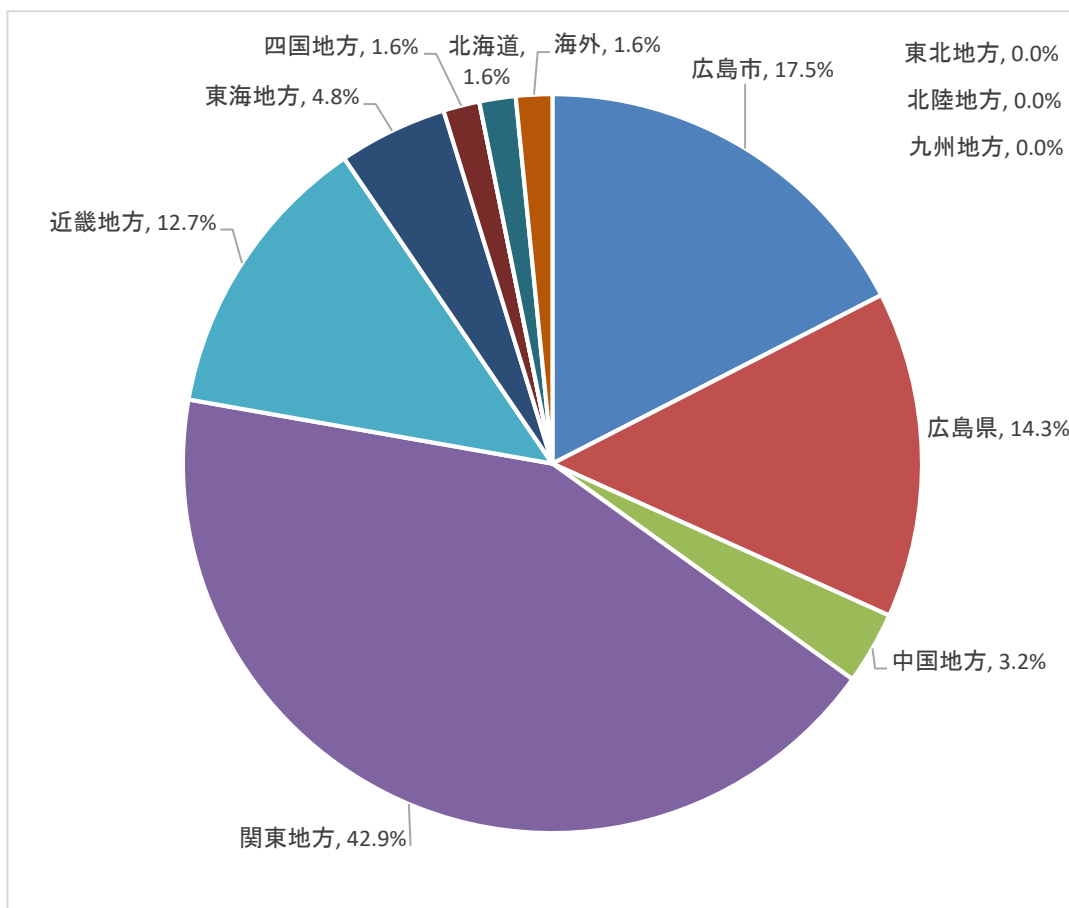
イ 地域別

(ア) 2020年度卒

a 学部(238名)



b 大学院(63名)



(3)就職先企業等一覧

ア 2020年度 国際学部及び国際学研究科(大学院)における就職先

2021.3.31現在

《広島県内地域》25社27名

- ・アイドゥー(株)(広島市)
- ・(株)アンフィニ広島(広島市)
- ・(株)イズミ(広島市)
- ・伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)(広島市)
- ・(株)インターロジック[IRISグループ](広島市)
- ・麒麟倉庫(株)(広島市)
- ・(株)新星工業社(広島市)2名
- ・信用組合広島商銀(広島市)
- ・中国機材設備(株)(広島市)
- ・(株)中国新聞社(広島市)
- ・社会福祉法人つつじ(広島県)
- ・トウショク(株)(広島県)
- ・(株)ドコモCS中国(広島市)
- ・長沼商事(株)(広島市)
- ・日本基準寝具(株)(広島市)
- ・(株)広島銀行(広島市)
- ・広島県警察本部(広島市)
- ・広島県民共済生活協同組合(広島市)
- ・広島市役所(広島市)2名
- ・広島出入国在留管理局(広島市)
- ・(株)広島マツダ(広島市)
- ・(株)5コーポレーション(広島市)
- ・(株)フレスタ(広島市)
- ・マツダロジスティクス(株)(広島市)
- ・(株)良和ハウス(広島市)

《関東地域》32社36名

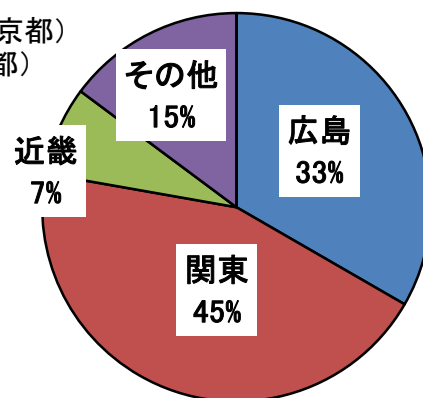
- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株)(東京都)
- ・(株)アサヒセキュリティ(東京都)
- ・イオンモール(株)(千葉県)
- ・(株)ウィルゲート(東京都)
- ・Wolt Japan (株)(東京都)2名
- ・(株)オープンハウス(東京都)
- ・(株)オープンロジ(東京都)
- ・(株)ぐるなび(東京都)
- ・国土交通省(東京都)
- ・サポート行政書士法人SGコンサルティング(株)(東京都)
- ・三幸グループ(東京都)
- ・合同会社 西友(東京都)
- ・(株)シルバーウッド(千葉県)
- ・(株)ジンス(東京都)
- ・(株)ティーガイア(東京都)
- ・(株)TYL(東京都)
- ・(株)テンポスバスターズ(東京都)
- ・東京海上日動火災保険(株)(東京都)
- ・東邦車輛(株)(群馬県)
- ・中川特殊鋼(株)(東京都)
- ・(株)ニチイケアパレス(東京都)
- ・(株)日新コンピュータシステム(東京都)
- ・日本交通(株)(東京都)
- ・日本通運(株)(東京都)3名
- ・(株)日本デザイン(東京都)
- ・(株)ネオキャリア(東京都)
- ・ビッグモーターグループ(東京都)
- ・(株)フィル・カンパニー(東京都)
- ・認定NPO法人フローレンス(東京都)
- ・明治安田生命保険(相)(東京都)
- ・(株)メンバーズ(東京都)2名
- ・(株)ワイズ(東京都)

《近畿地域》5社6名

- ・アイオ(株)(兵庫県)
- ・(株)栄光堂セレモニーユニオン(大阪府)
- ・(株)エディオン(大阪府)2名
- ・日本生命保険(相)(大阪府)
- ・(株)フジデン(兵庫県)

《その他地域》12社12名

- ・(株)伊予銀行(愛媛県)
- ・ウチダ(株)(愛知県)
- ・(株)オクト管理(沖縄県)
- ・(株)技研製作所(高知県)
- ・(株)中海テレビ放送(鳥取県)
- ・(株)日本セレモニー(山口県)
- ・(株)ネットトヨタ南国(高知県)
- ・(株)ビッグ・エス(香川県)
- ・(株)星野リゾート(長野県)
- ・物語コーポレーション(愛知県)
- ・(株)やずや(福岡県)
- ・山口フィナンシャルグループ(山口県)



※地域区分について

【関東地域】

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県
千葉県、東京都、神奈川県

【近畿地域】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県
奈良県、和歌山県

イ 2020年度 情報科学部及び情報科学研究科(大学院)における就職先

2021.3.31現在

《広島県内地域》48社63名	《関東地域》60社78名	《近畿地域》19社22名
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)今村塾(広島市) ・(株)インタフェース(広島市) ・(株)インプレステック(広島県) ・(株)ウッドワン(広島県) ・(株)AICエデュケーション(広島市) ・NSウエスト(株)(広島県)2名 ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国(広島市)4名 ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市) ・呉市役所(広島県) ・(株)呉電子計算センター(広島県)3名 ・(株)経営管理センター(広島市) ・(有)啓仁館(広島市) ・(株)コトブキソリューション(広島県) ・佐竹電機(株)(広島県) ・(株)シー・エス・デイ(広島市) ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市) ・(株)システムワン(広島市) ・(株)新星工業社(広島市) ・(株)ソルコム(広島市) ・(株)ダイキエンジニアリング(広島県) ・(株)ダイセック(広島市) ・中外テクノス(株)(広島市) ・(株)中電工(広島市) ・(株)TSSソフトウェア(広島市) ・(株)テクノクラーツ(広島市)2名 ・デルタ工業(株)(広島県) ・トーヨーエイテック(株)(広島市) ・東洋電装(株)(広島市) ・西川ゴム工業(株)(広島市) ・西日本オフィスメーション(株)(広島市) ・日鋼設計(株)(広島市) ・(株)日本クライメイトシステムズ(広島県) ・(株)ネクスト・テクノロジー(広島市) ・(株)ネクストビジョン(広島市) ・(株)ハイエレコン(広島市) ・(株)バース企画(広島市) ・廿日市市役所(広島県) ・(株)ビージーシステム(広島市) ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)3名 ・(株)ビーライズ(広島市) ・(株)広島銀行(広島市) ・広島市役所(広島市)3名 ・広島信用金庫(広島市) ・北辰計機(株)(広島県) ・マツダ(株)(広島県)5名 ・マツダエース(株)(広島県) ・(株)良和ハウス(広島市) ・ローツエ(株)(広島県) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)アイ・エル・シー(東京都) ・(株)アイティープロデュース(東京都)3名 ・(株)アイレックス(東京都) ・(株)アウトソーシング(東京都) ・(株)アウトソーシングテクノロジー(東京都)2名 ・(株)アルファシステムズ(神奈川県) ・伊藤忠テクノソリューションズ(株)(東京都) ・(株)インターネットイニシアティブ(東京都) ・インターネットウェア(株)(東京都) ・(株)インテジテクノスフィア(東京都) ・インベントグループ(株)(東京都) ・(株)エイジェック(東京都)2名 ・NECソリューションイノベータ(株)(東京都)4名 ・NECネットエスアイ(株)(東京都)2名 ・エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)(東京都) ・キヤノンITソリューションズ(株)(東京都) ・協栄産業(株)(東京都) ・(株)コア(東京都)2名 ・国税庁(東京都)2名 ・(株)個別教育舎(対話式進学塾 1対1ネット)(東京都) ・コンチネンタル・オートモーティブ(株)(神奈川県) ・CTCテクノロジー(株)(東京都) ・ジェイ・アール・シー特機(株)(神奈川県) ・(株)JTBコミュニケーションデザイン(東京都) ・(株)システナ(東京都) ・(株)システマーズ(東京都) ・(株)SHIFT(東京都) ・(株)ジャステック(東京都) ・ジャパニアス(株)(神奈川県) ・シリコンスタジオ(株)(東京都) ・数研出版(株)(東京都) ・全国農業協同組合連合会(東京都) ・ソニー(株)(東京都) ・ソニーLSIデザイン(株)(神奈川県)2名 ・ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)(神奈川県) ・(株)ディスコ(東京都)2名 ・(株)テクノス(東京都) ・(株)テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社(東京都) ・(株)デンソーソリューション(東京都) ・東京エレクトロン(株)(東京都) ・(株)東京個別指導学院(東京都) ・東芝デベロップメントエンジニアリング(株)(神奈川県) ・(株)トラストシステム(東京都) ・日本アドバンス・テクノロジー(株)(東京都) ・(株)日本製鋼所(東京都) ・日本電気(株)(東京都)2名 ・パーソルテンプスタッフ(株)(東京都) ・(株)日立情報通信エンジニアリング(神奈川県) ・(株)日立ソリューションズ(東京都)2名 ・(株)日立ソリューションズ・クリエイト(東京都)2名 ・(株)VSN(東京都) ・富士ゼロックス(株)(東京都) ・富士ソフト(株)(神奈川県)2名 ・(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ(神奈川県) ・富士通フロンテック(株)(東京都) ・富士ファイルメディカル(株)(東京都) ・三菱電機システムサービス(株)(東京都) ・(株)メイテック(東京都)3名 ・(株)メテオライズ(東京都) ・(株)メンバーズ(東京都) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイベステクノ(株)(兵庫県) ・(株)エヌ・ティ・ティ ネオメイト(大阪府) ・(株)NTTフィールドテクノ(大阪府) ・大阪府役所(大阪府) ・(株)オプテージ(大阪府) ・グローリー(株)(兵庫県) ・(株)島津製作所(京都府) ・(株)ソフトウェア・サービス(大阪府)2名 ・中央システムサービス(株)(大阪府) ・(株)デンソーテン(兵庫県)2名 ・(株)中田製作所(大阪府) ・西日本高速道路ファミリティーズ(株)(大阪府) ・西宮市役所(兵庫県) ・パーソナルAVCテクノロジー(株)(大阪府) ・パナソニックアドバンステクノロジー(株)(大阪府) ・パナソニック セミコンダクターソリューションズ(株)(京都府) ・(株)ビヨンド(大阪府) ・三菱電機コントロールソフトウェア(株)(兵庫県)2名 ・ミヨシ電子(株)(兵庫県)
	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ATTS(大分県) ・(株)アミック(静岡県) ・愛媛県警察本部(愛媛県) ・(株)三社電機イースタン(長野県) ・(株)シークス(愛知県) ・静銀ITソリューション(株)(静岡県) ・スズキ(株)(静岡県) ・セーバー(株)(愛媛県) ・セリオ(株)(岡山県) ・(株)ドコモCS九州(福岡県) ・(株)ドコモCS東海(愛知県) ・(株)ほくつう(石川県) ・モアシステム(株)(愛知県) ・(株)両備システムズ(岡山県)3名 	
		<p>その 他 9%</p> <p>近畿 12%</p> <p>広島 35%</p> <p>関東 44%</p>
		<p>※地域区分について</p> <p>【関東地域】 茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、東京都、 神奈川県</p> <p>【近畿地域】 滋賀県、京都府、大阪府、 兵庫県、奈良県、和歌山県</p>

(注)本社所在地により地域別に整理

《広島県内地域》14社15名

- ・(株)オガワ(広島市)
- ・(株)新生(広島市)
- ・(株)スズキ自販広島(広島市)
- ・(有)セレクトコンサルタント リ・テ・スタ(広島市)
- ・(株)大進創寫館(広島市)
- ・(株)ツクリエ(広島市)
- ・(株)ハマダ宝石時計店 VANiIIA(広島県)2名
- ・浜本工芸(株)(広島市)
- ・(株)ハローズ(広島県)
- ・広島市公立学校教員(中学美術)(広島市)
- ・(株)Moopon Corporation(広島市)
- ・(株)メイプルシティ(広島県)
- ・(株)メルカンテ(広島市)
- ・ラクサステクノロジーズ(株)(広島市)

《関東地域》9社9名

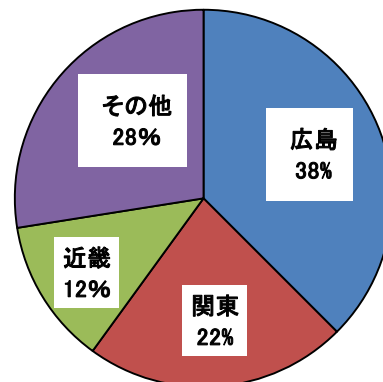
- ・アスカ(株)(東京都)
- ・(株)エイジェット(東京都)
- ・(株)エヌリンクス(東京都)
- ・(株)キャメル珈琲(東京都)
- ・キヤノンシステムアンドサポート(株)(東京都)
- ・(株)ケイライトスタジオ(東京都)
- ・(株)Cygames(東京都)
- ・(株)studioぱれっと(東京都)
- ・(社)若竹大寿会(神奈川県)

《近畿地域》5社5名

- ・宇仁繊維(株)(大阪府)
- ・(株)サンディ(大阪府)
- ・明山陶業(株)(滋賀県)
- ・ラッキーコーヒーマシン(株)(兵庫県)
- ・(株)ワールドパーティー(大阪府)

《その他地域》9社11名

- ・合同会社石垣焼窯元(沖縄県)
- ・(株)エム・クラフト(山梨県)
- ・(株)キャン(岡山県)
- ・(株)ケイ・ウノ(愛知県)3名
- ・高知県公立学校教員(中学美術)(高知県)
- ・(有)佐藤木型製作所(愛知県)
- ・中国泸州老窖股份有限公司(中国)
- ・羽幌町役場(北海道)
- ・(株)マイサ(福岡県)



※地域区分について
【関東地域】
 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県
 千葉県、東京都、神奈川県
【近畿地域】
 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県
 奈良県、和歌山県

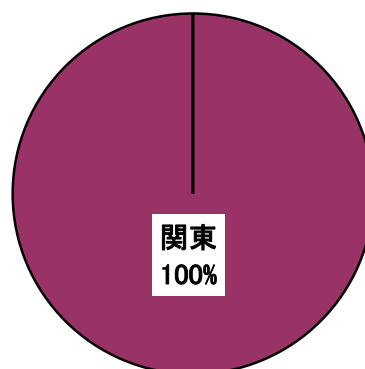
(注) 本社所在地により地域別に整理

《広島県内地域》0社0名

《関東地域》1社1名
・東日本高速道路株(東京都)

《近畿地域》0社0名

《その他地域》0社0名



※地域区分について
【関東地域】
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県
千葉県、東京都、神奈川県
【近畿地域】
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県

(注)本社所在地により地域別に整理

6 社会連携

(1) 産学官連携

ア 推進体制（2021年4月1日時点）

◆社会連携センター

○産学官連携推進に係る学内外窓口

- ・企業等からの相談受付（共同研究、技術相談等）
- ・リエゾン活動（教員からの共同研究相手先企業等の開拓）
- ・受託研究、共同研究、補助金、奨学寄附金等受入
- ・他機関との連絡調整 等

○産学官連携コーディネーターの配置（2003年度から2016年度まで）

○知的財産管理体制の構築

○知的財産マネージャーの配置（2005年度から）

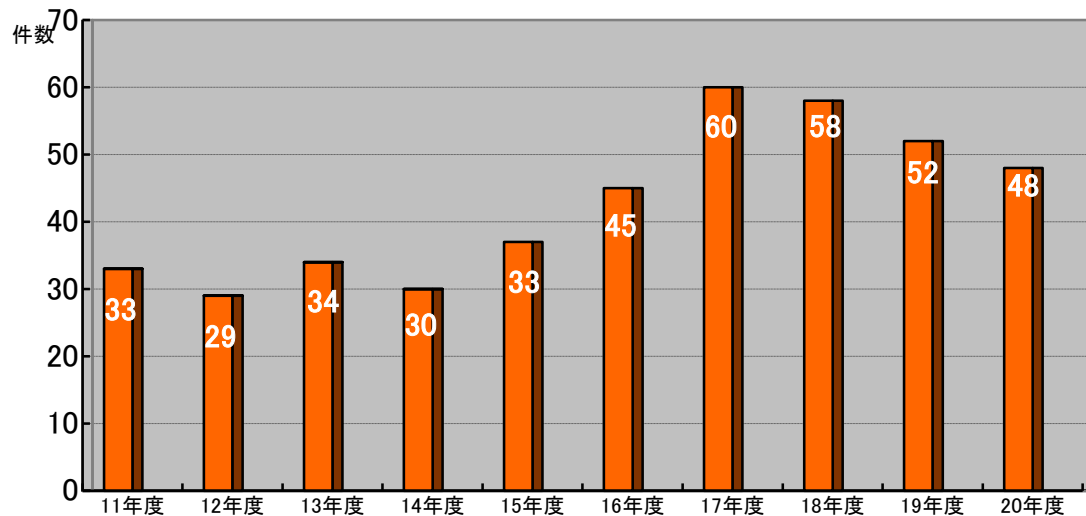
○社会連携センター設置（2007年度 産学官連携推進室から移行）

○地域連携コーディネーターの配置（2008年度から2016年度まで）

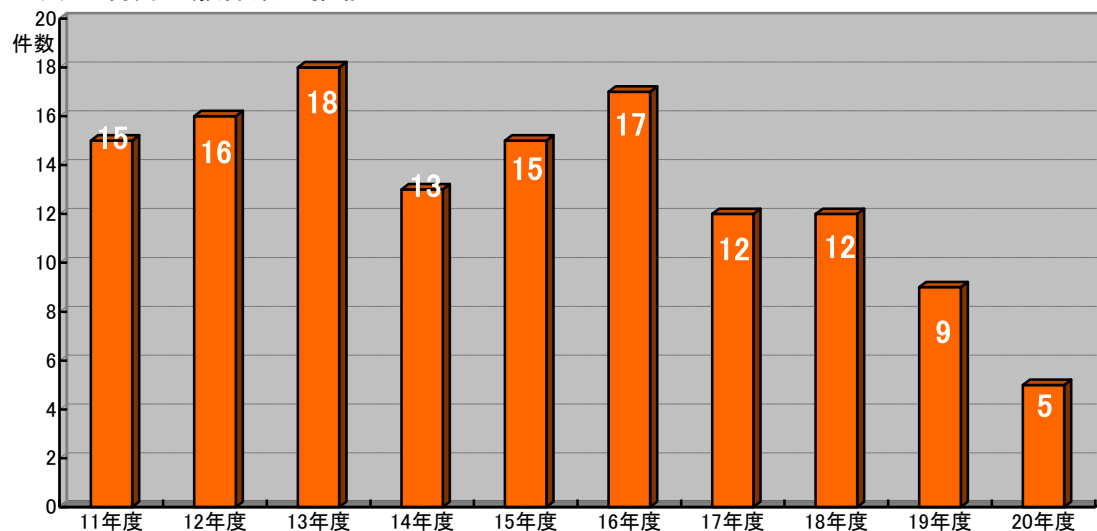
○社会連携コーディネーターの配置（2011年度から）

イ 研究・事業等の実施状況（2011年度～2020年度）

(ア) 共同研究及び受託研究件数の推移



(イ) 特許出願件数の推移



(ウ) 情報発信及び産学共同事業

◆広島市立大学産学連携研究発表会の開催

○2020 年度開催概要

日時：2020 年 9 月 14 日（月）13：30～15：00

場所：Zoom によるオンライン開催

<プログラム>

・講演会

基調講演：「イノベーションによって変わる日常

変わる日常によって生まれるイノベーション」

（株式会社アスカネット 会長 福田 幸雄）

研究者講演：「ネットワーク上の爆発的事象における研究」

（情報科学研究科 教授 高野 知佐）

「ブロックチェーン技術を利用した取引の現状と課題について」

（情報科学研究科 講師 上土井 陽子）

<その他>

- ・産学連携研究発表会 2020 の特設サイトを開設し、本学研究者及び産学連携団体の事業をポスター展示により紹介した。

ポスター件数 研究紹介 : 32 件

産学連携団体 : 4 件

Web サイト URL <<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/>>

<視聴者数及び閲覧数>

- ・当日の講演視聴者数 90 名
- ・Web サイト閲覧数 593 名（9 月 8 日から 10 月 15 日配信期間中）

広島市立大学産学連携研究発表会 2020
～ニューノーマル時代のIT技術～ 開催概要

日時	2020 年 9 月 14 日(月)13:30～15:00
開催方法	ZOOMによるオンライン開催 お申し込み時にご登録いただいたメールアドレスへ、ZOOM ミーティング URL 等を前日までにお送りいたします。 当日 300 名を超えた場合は、別途お知らせするアーカイブ開催でのご視聴となります。
対象	地域企業の皆様、産学連携推進関係機関の皆様等
ライブ配信プログラム	13:00 開場(受付開始) 13:30 開会・主催者挨拶 広島市立大学 総務長・学長 若林 真一 13:35 基調講演 渡邊「イノベーションによって変わる日常 変わる日常によって生まれるイノベーション」 講師 株式会社アスカネット 会長 福田 幸雄 14:10 研究者講演 1 「ネットワーク上の爆発的事象における研究」 広島市立大学大学院情報科学研究科 教授 高野 知佐 2 「ブロックチェーン技術を利用した取引の現状と課題について」 広島市立大学大学院情報科学研究科 講師 上土井 陽子
技術相談	希望により、プログラム終了後(15:00～)に、研究紹介ポスター出展職員による個別技術相談を行います。
Web 特設ページ	https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation 研究紹介のポスター(PDF・動画)展示、産学連携関係団体の事業紹介ポスター(PDF)展示は 9 月 7 日から公開予定です。
主催	公立大学法人広島市立大学、広島市
後援	中国経済産業局、中国総合連携局、広島県、国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター、中国経済連合会、公益財団法人中国地域創成センター、 一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会、公益財団法人ひろしま産業振興機構、 広島県工業振興所、一般社団法人広島県農林協会、 一般社団法人広島県特産産業協会、公益財団法人広島市産業振興センター
お申込み	特設ページからお申込みください。

お問い合わせ：公立大学法人広島市立大学 社会連携センター 担当 林、中倉、遠江
E-mail: office-shokai@hiroshima-cu.ac.jp
TEL: 082-830-1545 FAX: 082-830-1555

今年もオンライン!

産学連携研究発表会 2020
【ニューノーマル時代のIT技術】をメインテーマに
様々な研究を紹介!

2020 9/14(月) 13:30～
配信開始

ホーム | [ポスター展示 \(研究紹介\)](#) | [ポスター展示 \(地域貢献事業\)](#) | [本学研究者の紹介](#) | [企業の皆様へ \(お問い合わせ先\)](#)

産学連携研究発表会開催案内チラシ

産学連携研究発表会 2020 特設サイト

◆広島市役所での地域貢献事業発表会

○2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

広島市や地域との連携事業をポスター展示により紹介する Web サイト「地域に貢献する広島市立大学」を開設

ポスター件数 広島市との連携事業紹介：13件
地域・市民対象事業紹介：10件
地域と連携した教育研究：6件
その他：4件

Web サイト URL <<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/area/>>



地域に貢献する広島市立大学 Web サイト

◆イベント出展、講演、パネル展示等

- ・ 9月28日～11月30日：イノベーション・ジャパン2020大学見本市（オンライン）
- ・ 8月24日：2020年度ヘルスケア・医療福祉事業化交流会（広島）
- ・ 9月15日～10月14日：中国国際スマート産業博覧会2020
（中国重慶市/オンライン）
- ・ 12月15日：新技術説明会（オンライン）

(2) 地域連携

ア 公開講座

≪2020 年度≫

〔国際学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
国際フェスタに合わせ開催している講座	「国際ビジネスの現実と地平— 寄付行動・原価計算・公会計—」 〔(公財) 広島平和文化センター が主催する「国際フェスタ」の 中のプログラムのひとつとして 開催している講座。毎年、国際 学部研究交流委員会において企 画している。〕	11/14	1 回	オンライン開催	無料	100 人	30 人
市大英語 eラーニング講座	【市大英語 eラーニング講座】 ①リーディング・リスニング・ 文法プログラム ②スピーキングプログラム ③ライティングプログラム ④小学校英語教育指導者養成プ ログラム ⑤通訳ガイド養成プログラム	(第 1 期) 中止 (第 2 期) 7/26~10/9 (第 3 期) 9/26~12/11	—	(第 2 期) ・オンライン受講 ・ゆいぽーと ・本学サテライ トキャンパス (第 3 期) ・オンライン受講 のみ	① 18,200 円	各期 80 人	(第 1 期) —
					その他 各 5,000 円		(第 2 期) 68 人
							(第 3 期) 54 人
「国連 UNHCR 難民映画祭」に 合わせ開催している講座	「ヒロシマから難民問題に向き 合う」・難民映画上映会「女を修 理する男」	2/13	1 回	オンライン	無料	50 人	48 人
特別講座	トランプ政権下のアメリカと今 後	2/20	1 回	オンライン	無料	100 人	62 人

〔情報科学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
高校生向け講座	高校生による情報科学自由研究 (全7テーマ) ・量子コンピューティングのシミュレーション ・Unity+clusterでオンラインVRワールドを作成してみよう！ ・進化的アート——生物の進化を利用した画像生成—— ・ビッグデータの科学～Twitterのツイート分析～ ・フォトグラメトリーで写真から実物のCGモデルを作る ・Pythonを使って確率の問題を解こう！ ・Processingプログラミングによる自己紹介アニメーションの作成	8～9月	随時	オンライン	無料	1テーマ 5人程度	26人
高校生向け講座	(高校生による情報科学自由研究) オンライン研究成果発表会	10/11	1回	オンライン			参加高校生数16人 ポスター10枚
一般向け講座	講演会 ・救急車・バスを活用した路面状態のモニタリング ・心を押し量る人物映像処理	2/17	1回	オンライン	無料	100人	42人
小中学生向け講座	ひろしまコンピュータサイエンス塾—情報科学への道しるべ—	3/28	1回	オンライン	無料	20人	16人

〔芸術学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者	
一般向け講座	日本画コース	中止	-	-	-	-	-	
	油絵コース	油絵（専門）	中止	-	-	-	-	
		油絵（一般）		-	-	-	-	
		版画	中止	-	-	-	-	
	彫刻コース	彫刻	中止	-	-	-	-	
	デザイン工芸コース	染織造形	中止	-	-	-	-	
		メディア造形	中止	-	-	-	-	
サマースクール	日本画コース	8/29, 30	全2回	オンライン	5,200円	16人	9人	
	油絵コース	8/29, 30	全2回	オンライン	5,200円	9人	9人	
	彫刻コース	Aコース	8/22, 23	全2回	オンライン	5,200円	20人	0人
		Bコース	8/22, 23, 29	全3回	オンライン	6,200円	20人	2人
		Cコース	8/30	全1回	オンライン	5,200円	20人	0人
		Dコース	8/22, 23, 29, 30	全4回	オンライン	6,200円	20人	2人
	デザイン工芸コース	8/22, 30	全2回	オンライン	6,200円	60人	30人	

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
芸術学部 社会人講座 (工芸・版画通年コース)	漆	中止	-	-	212,000 円/年 (週 4 日)	-	-
	金工				172,000 円/年 (週 3 日)		-
	染織				132,000 円/年 (週 2 日)		-
	版画				92,000 円/年 (週 1 日)		-
芸術学部 社会人講座 (※夏季特別講座)	漆	中止	-	-	42,400 円 (週 4 日)	-	-
	金工				34,400 円 (週 3 日)		-
	染織				26,400 円 (週 2 日)		-
	版画				18,400 円 (週 1 日)		-

※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講する。

大学連携開催分

〔県立広島大学・広島市立大学連携公開講座〕

区分	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ひろしまを考える	中止 (毎週水曜)	全4回	サテライトキャンパスひろしま (県立広島大学サテライトキャンパス)	無料	80人	-
						-
						-
						-
世界を知る	中止 (毎週金曜)	全4回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	-
						-
						-
						-

〔広島平和研究所開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
フォーラム	東アジアの危機と日韓関係の行方 —東アジア共同体創造に向けて—	10/16	全1回	リーガロイヤル ホテル広島	無料	70人	70人

イ その他の事業

◆行政課題解決への協力

- ・基町プロジェクト（2020年5月広島市策定「基町地区活性化計画」に掲げる取組）
- ・あさみなみ芸術化構想2020
- ・広島市新型コロナウイルス感染症ポータルサイトの構築
- ・比治山公園「平和の丘」の案内サイン制作
- ・広島広域都市圏協議会「広島広域都市圏のロゴマークの制作」
- ・広島市基本構想・第六次広島市基本計画の表紙デザイン及び本文レイアウト制作
- ・広島矯正管区「矯正職員の採用広報に資するキャラクターデザインの開発研究」

◆NPO、市民などとの協働事業

- ・公益財団法人広島平和文化センター「原爆の絵・展示用複製画の制作」
- ・横川エリアマネジメント連絡協議会「JR横川駅南北自由通路壁面デザイン及びギャラリーの整備事業」
など

ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況（2020年度に任期が含まれたものを対象）

【理事長・学長、理事・副学長】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島県	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会※1	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2021/3/31
広島県	広島県留学生活躍支援センター	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2021/3/31
その他	公益財団法人広島市文化財団	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※2
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※3
その他	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※4
その他	公益財団法人大学基準協会	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※5
その他	公益財団法人ヒロシマ平和創造基金	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※6
その他	広島シンガポール協会	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※7
その他	公益財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2021/3/31
その他	公益財団法人もみじ銀行育英会	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/5/21	～ ※8
その他	岡山県立大学（おかやまCOC+推進協議会）	おかやまCOC+外部評価委員会委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/1	～ 2021/3/31
その他	公益財団法人ひろしん文化財団	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/6	～ ※9
その他	公益財団法人広島平和文化センター	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/14	～ ※10
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/27	～ ※11

※1 2020年4月1日にひろしま平和推進ネットワークに名称変更

※2 2022年に開催する定時評議員会の終結の時まで

※3 2023年度に関する定時評議員会の日まで

※4 2023年の定時評議員会の終結の時まで

※5 2024年6月開催予定の定時評議員会の終結の時まで

※6 2022年6月の評議員会の終結の時まで

※7 2020年度に関する定時総会の終結の時まで

※8 2024年5月開催の定時評議員会の終結の時まで

※9 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

※10 2022年度に関する定時評議員会の終結の時まで

※11 2021年6月の定時社員総会の日まで

【国際学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ウルリケ・ヴェール	2020/3/1	～ 2022/2/28
広島市	広島市教育委員会	広島市教科用図書採択審議会委員	教授	渡辺 智恵	2020/6/2, 7/10, 7/17, 7/21	
広島県	広島県環境県民局学事課	広島県私立学校審議会委員	教授	太田 育子	2014/12/24	～ 2022/12/24
広島県	広島県土木建築局都市計画課	広島県都市計画審議会委員	教授	太田 育子	2018/2/1	～ 2022/1/31
広島県	広島県総務局総務課	広島県情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	金谷 信子	2018/12/1	～ 2022/11/30
広島県	広島県環境県民局自然環境課	広島県指定管理者選定委員会自然公園部会委員	教授	金谷 信子	任命の日	～ 2021/3/31
広島県	広島県総務局企画経営チーム	広島県総合計画審議会委員	教授	寺田 英子	就任承諾日	～ 2020/3/31
広島県	広島県教育委員会事務局文化財課	広島県博物館協議会	准教授	城市 真理子	2019/8/20	～ 2021/8/19
広島県	広島県教育委員会事務局文化財課	広島県文化財保護審議会委員	准教授	城市 真理子	2020/1/5	～ 2022/1/4
国	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局事業評価監視委員会委員	教授	寺田 英子	2015/6/24	～ 2021/3/31
その他	大竹市総務部企画財政課	大竹市総合戦略推進会議委員	教授	金谷 信子	2015/7/6	～ 2020/3/31
その他	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	教授	柿木 伸之	2016/6/1	～ 2022/5/31
その他	呉市都市部技術監理室	呉市公共事業評価委員会	教授	寺田 英子	2019/1/1	～ 2020/12/31

その他	福山市総務局総務部総務課	福山市公立大学法人評価委員会委員	教授	青木 信之	2020/4/1	～	2021/3/31
その他	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	ASPUnivNet運営委員	教授	卜部 匡司	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構	ソシオネットワーク戦略研究機構共同研究員	教授	高橋 広雅	2019/4/1	～	2023/3/31
その他	弓削商船高等専門学校	運営諮問会議委員	教授	寺田 英子	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	大竹市市民生活部自治振興課	大竹市市民活動助成審査委員	教授	金谷 信子	2020/6/1	～	2022/5/31
その他	大竹市総務部企画財政課	大竹市まちづくり基本構想策定審議会委員	教授	金谷 信子	11月上旬から1月中旬の間で会議3回		
その他	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館共同研究員	准教授	山口 えり	2019/4/1	～	2022/3/31
その他	公益財団法人広島市文化財団	文化活動助成事業審査委員	准教授	山口 えり	2020/4承諾日	～	2022/3/31

【情報科学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市教育委員会	広島市立図書館協議会委員	教授	竹澤 寿幸	2018/10/1	～ 2020/9/30
広島市	広島市企画総務局	広島市情報政策アドバイザー・ボード委員	教授	前田 香織	2020/4/1	～ 2021/3/31
広島市	広島市企画総務局	広島市特定個人情報保護評価に係る審査員	教授	前田 香織	2020/5/1	～ 2022/4/30
広島市	広島市危機管理室災害対策課	広島市防災情報共有システムの更新整備及び運用・保守業務総合評価審査委員会の特別委員	教授	前田 香織	2020年6月中	～ 2020年9月中
広島市	広島市教育委員会	広島市立図書館協議会委員	教授	前田 香織	2020/10/1	～ 2022/9/30
広島市	広島市市民局市民安全推進課	広島市安全なまちづくり推進協議会委員	准教授	高野 知佐	2019/9/1	～ 2021/8/31
広島市	広島市環境局環境保全課	広島市環境影響評価審査会委員	講師	香田 次郎	2019/5/10	～ 2021/5/9
広島県	広島県総務局総務課	広島県個人情報保護審議会委員	教授	前田 香織	2019/4/1	～ 2021/3/31
広島県	広島県商工労働局産業人材課	広島県商工労働局補助金等審査会(イノベーション人材等育成部会)委員及び「広島県未来チャレンジ資金」アドバイザー	教授	前田 香織	2021/3/1	～ 2022/3/31
国	総務省行政管理局	電子政府推進員	教授	前田 香織	2019/8/1	～ (2年間)
国	知的財産高等裁判所	東京高等裁判所、東京地方裁判所及び大阪地方裁判所所属の専門委員	教授	弘中 哲夫	2020/10/1	～ 2022/9/30
国	文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター	科学技術専門家ネットワーク専門調査員	准教授	梶山 朋子	2020/4/1	～ 2021/3/31
国	総務省総合通信基盤局	「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」専門評価員	准教授	高橋 賢	承諾日	～ 2022/11/30
その他	日本学術会議	日本学術会議連携会員	教授	前田 香織	2017/10/2	～ 2023/9/30
その他	一般財団法人電子情報技術産業協会	IEC国際規格原案作成委員会委員	教授	田中 宏和	2019/4/1	～ 2021/3/31
その他	広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	前田 香織	2019/6/1	～ 2021/5/31
その他	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金	理事	教授	角田 良明	2019/6/19	～ 2021年6月中
その他	一般社団法人ETA-AAL推進協議会	理事	教授	田中 宏和	2019/7/11	～ 2023/6/30
その他	千葉大学	テニユアトラック助教中間評価委員	教授	藤坂 尚登	2019/9/13	～ 2023/9/13
その他	鳥取県県土整備部技術企画課	鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等委員会	教授	前田 香織	2019/11/1	～ 2020/10/31
その他	広島市立美鈴が丘高等学校	学校協力者会議委員	教授	松原 行宏	2020/4/1	～ 2021/3/31
その他	広島市立沼田高等学校	学校協力者会議委員	教授	永山 忍	2020/4/1	～ 2021/3/31
その他	広島県立祇園北高等学校	学校運営協議会委員	教授	角田 良明	2020/4/1	～ 2021/3/31
その他	広島県立安西高等学校	安西高等学校学校運営協議会委員	教授	井上 智生	2020/4/1	～ 2021/3/31
その他	中国経済連合会	人材育成専門部会	教授	井上 智生	2020/4/1	～ 2021/3/31
その他	中国情報通信懇談会	中国情報通信懇談会放送部会幹事	教授	西 正博	2020/4/1	～ 2021/3/31
その他	公益財団法人ひろしま産業振興機構	公益財団法人ひろしま産業振興機構経営委員会委員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	2020/5/1	～ 2022年6月理事会まで
その他	公益財団法人広島市みどり生きもの協会	評議員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	2020/6/12	～ 2024年6月評議会まで
その他	公益財団法人広島市観光コンベンションビューロー	広島産学公連携MICE推進協議会委員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	2020/7/1	～ 2022/6/30

その他	株式会社NHKテクノロジーズ	「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討会」委員	教授	西 正博	2020/7/1 ~ 2021年3月
その他	株式会社情報通信総合研究所	メディア融合時代の通信産業研究会委員	教授	前田 香織	2020/7/1 ~ 2021/3/31
その他	一般社団法人パワーデバイス・インテグレーション協会	半導体テスト技術者検定課題検討委員	教授	井上 智生	2020/8/24 ~ 2021/8/31
その他	邑南町教育委員会	邑南町立石見中学校改築工事基本設計業務に係るリモート教育アドバイザー	教授	前田 香織	2020/11/25 ~ 2021/5/31
その他	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	学術認証運営委員会委員	教授	前田 香織	就任承諾日 ~ 2021/3/31
その他	高齢社会対応標準化国内委員会、IEC Syc AAL WG、SyC AAL主要メンバー会合WG	委員	教授	田中 宏和	承認日 ~ 2021/3/31
その他	広島県立図書館	広島県立図書館資料選定委員	教授	松原 行宏	就任承諾日 ~ 2021/3/31
その他	広島大学	GSC広島コンソーシアム会議委員	教授	井上 智生	第1回会議開催日 ~ 2021/3/31
その他	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金	理事	教授	前田 香織	承認日 ~ 2021年6月中
その他	九州大学	大学院システム情報科学府博士後期課程学生アドバイザー委員	教授	三村 和史	承認日 ~ 2023/3/31
その他	一般社団法人画像電子学会	マルチメディア情報ハイディングエンリッチメント研究専門委員	准教授	梶山 朋子	2016/6/2 ~ 2020/6/3
その他	専門学校コンピュータ教育学院	教育課程編成委員会委員	准教授	岩根 典之	2019/2/16 ~ 2021/2/15
その他	国立研究開発法人情報通信研究機構	令和2年度SecHack365実行委員	准教授	井上 博之	2020/4/1 ~ 2021/3/31
その他	広島県立広島井口高等学校	広島県立広島井口学校運営協議会委員	准教授	内田 智之	2020/4/1 ~ 2021/3/31
その他	専門学校コンピュータ教育学院	教育課程編成委員会委員	准教授	岩根 典之	2021/2/16 ~ 2023/2/15
その他	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	イノベーション創出教科研究推進事業評議員	准教授	釘宮 章光	委嘱発令日 ~ 2022/3/31

【芸術学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	2018/10/20	~ 2020/10/19
広島市	広島市経済観光局産業振興部商業振興課	広島市特産品等ブランド化推進審議会委員	教授	吉田 幸弘	2019/4/1	~ 2021/3/31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市都市デザインアドバイザー会議委員	教授	吉田 幸弘	2020/5/26	~ 2022/5/25
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	2020/10/20	~ 2022/10/19
広島市	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	広島市ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員	教授	南昌 伸	委嘱の日	~ 2020展覧会終了まで
広島市	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	総合文化芸術イベント検討委員会メディア芸術部会委員	教授	笠原 浩	就任承諾後	~ 2021/3/31
広島市	広島市健康福祉局障害福祉部障害福祉課	広島市障害者施策推進協議会委員	教授	吉田 幸弘	委嘱の日	~ 2022/5/31
広島市	水の都ひろしま推進協議会	オープンカフェ出店者選定委員会委員	教授	吉田 幸弘	許可日	~ 期限なし
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」委員	准教授	中村 圭	委員就任の日	~ 2021/8/31
広島市	広島市教育委員会青少年育成部育成課	令和2年度「青少年からのメッセージ」審査委員	講師	城井 文	許可日	~ 2020/11/21
広島県	広島県環境県民局文化芸術課	第8回新県美展(第72回広島県美術展)審査員	教授	大塚 智嗣	2020/5/27	~ 2020/5/27
広島県	広島県環境県民局文化芸術課	広島県Web公募美術展審査員	教授	伊東 敏光	2020/6/3	~ 2020/6/8
広島県	広島県環境県民局文化芸術課	広島県Web公募美術展審査員	教授	大塚 智嗣	2020/6/3	~ 2020/6/8
国	法務省広島矯正管区	第38回管内新製品開発コンクール審査員	教授	吉田 幸弘	2020/10/30	
国	国土交通省中国地方整備局	太田川河川整備懇談会	教授	吉田 幸弘	承認日~1年間	
その他	NHK広島放送局	日本放送協会中国地方放送番組審議会委員	教授	笠原 浩	2019/5/1	~ 2021/4/30
その他	呉市教育委員会	呉市立美術館運営審議委員会	教授	前川 義春	2019/7/1	~ 2021/6/30
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	令和2年度工業技術支援アドバイザー	教授	納島 正弘	2020/4/1	~ 2021/3/31
その他	株式会社ソアラサービス	OneEARTH Project 審査員	教授	納島 正弘	2020/6/1	~ 2020/8/31
その他	公益財団法人広島市文化財団佐伯区民文化センター	「さえきアートキャンパス2020」講師	教授	森永 昌司	2020/8/22, 8/23	
その他	岩国市市民生活部文化振興課	第64回岩国市美術展覧会に係る審査員	教授	大塚 智嗣	2020/9/8	

その他	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会	展覧会委員	教授	納島 正弘	2020/9/10 ~ 2022/6/30
その他	広島県高等学校美術連盟	第19回広島県高等学校 絵画・彫刻コンクール審査員	教授	伊東 敏光	2020/10/30
その他	三原市教育委員会	三原市美術展覧会審査員	教授	森永 昌司	2020/11/1, 11/7
その他	県立広島大学	「経営学特別講義Ⅱ」講師	教授	納島 正弘	2020/12/11
その他	東広島市教育委員会	第33回東広島市美術展審査員	教授	伊東 敏光	2021/1/13
その他	東広島市教育委員会	第33回東広島市美術展審査員	教授	南昌 伸	2021/1/15
その他	広島県立広島観智学園中学校・高等学校	校章デザイン審査員	教授	伊東 敏光	2021/1/20
その他	昭和女子大学	令和2年度歴史文化学科開設講義「伝統文化の現場」講師	准教授	石黒 賢一郎	2020/6/19, 6/26
その他	東広島市教育委員会	東広島市立美術館美術品等収集委員会委員	准教授	石松 紀子	2020/12/1 ~ 2022/11/30
その他	東広島市教育委員会	第33回東広島市美術展審査員	准教授	石松 紀子	2021/1/13

【平和研究所】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市経済観光局観光政策部	ピースツーリズム推進懇談会委員	所長	大芝 亮	2020/4/1	~ 2021/3/31
広島市	広島市企画総務局企画調整部政策企画課	広島の拠点性強化に向けた懇話会ワーキンググループ会議	教授	水本 和実	2020/4/14	~ 2021/3/31
広島市	広島市市民局国際平和推進部平和推進課	平和宣言に関する懇談会	教授	水本 和実	2020/6/1	~ 2021/3/31
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際平和未来会議2020実行委員会委員	准教授	竹本 真希子	2020/4/1	~ 2021/3/31
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	所長	大芝 亮	2019/4/1	~ 2021/3/31
その他	公益財団法人広島平和文化センター	理事	所長	大芝 亮	2019/4/1	~ 2021年6月評議会まで
その他	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構	学位審査会審査委員	所長	大芝 亮	2020/4/1	~ 2022/3/31
その他	島根県環境生活部環境政策課環境企画グループ	島根県環境審議会委員	教授	沖村 理史	2020/7/1	~ 2022/6/30
その他	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館運営会議臨時委員	教授	水本 和実	2020/7/1	~ 2021/3/31
その他	公益財団法人日本国際問題研究所軍縮・科学技術センター	広島県委託「ひろしまレポート作成事業」委員	教授	水本 和実	2021/1/21	~ 2021/3/31
その他	自治労広島県本部	広島地方自治研究センター理事	准教授	河上 暁弘	2021/2/1	~ 2022/1/31

【附属施設・事務局】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際未来会議2020実行委員会委員	国際交流推進センター長	松本 良徳	2020/4/1	~ 2021/3/31
広島県	広島県地域政策局国際課地域国際化グループ	広島県留学生・大学グローバル化研究会委員	国際交流推進センター長	松本 良徳	2020/4/1	~ 2021/3/31
広島県	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	幹事	事務局次長	植永 勝成	2020/4/1	~ 2021/3/31
その他	柳井市経済部商工観光課	柳井市観光振興ビジョン進捗管理会議委員	社会連携センター特任教授	國本 善平	2021/3/20	~ 2023/3/19
その他	大塚公民館運営委員会	委員	事務局次長	植永 勝成	2020/4/1	~ 2021/3/31
その他	大塚伴南ふれあい祭り実行委員会	委員	事務局次長	植永 勝成	2020/4/1	~ 2021/3/31
その他	安佐南警察署協議会	委員	学生支援室長	川谷 卓哉	2020/4/1	~ 2021/3/31

(3) 高大連携

ア 教育ネットワーク中国における高大連携（2020年度）

◆中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（三次地区、安芸高田地区、庄原地区）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不開講

イ 広島市教育委員会との高大連携講座（2020年度）

◆芸術専門講座

- 講座名 「芸術表現としての映像を撮る」
- 参加者 基町高校創造表現コース 生徒17名（1年生9名、2年生4名、3年生4名）、教諭1名
- 日時 2020年8月4日(火)、5日(水)、11日(火)の3日間
13:00～16:30
- 実施場所 オンライン実施
- 内容 現在ではSNSなどで気軽に動画を撮影・配信できるようになったが、この講座では、「芸術表現」としての映像に取り組んでいく。視覚情報として映像に取り組む際に、「光・時間・構図」など留意する点がある。今回は、撮影・映写機器の原点であるシネマトグラフを開発したリュミエール兄弟、彼らの撮影した48秒・1カットの映像鑑賞を通して「光・時間・構図」を学び、映像表現を実践する機会とする。

◆国際講座

- 講座名 「岐路に立つ『国際社会』」
- 参加者 基町高校2名、舟入高校10名、沼田高等学校4名、美鈴が丘高等学校3名、広島中等教育学校5名、教諭5名
- 日時 2020年8月17日(月)13:30～16:30
- 実施場所 広島市立舟入高等学校
- 内容 どのような世界に私たちは住んでいるのか。世界地図をみると国ごとにきれいに色分けされ、最近では2011年7月に独立を果たした南スーダン共和国が新たに書き加えられた。国際社会の最近の変化は国家が一つ増えたことだけなのか。21世紀は「アジア・アフリカの時代」と主張する識者もいる。どのように国際社会が変わりつつあるのか、格差・Scramble for Africa・国際機関といったキーワードを基に一緒に考えたい(グループディスカッション、解説は全て英語で行います)。

ウ 高校での模擬授業の開催（2020年度）

実施日	開催時間	場 所	内 容	対象者	人数	担当講師
7/15	水 14:25 ~ 15:45	広島市立基町高校	模擬授業(芸術)	2年生	38	原(芸術)
8/17	月 13:30 ~ 16:30	広島市立舟入高校	広島市高大連携 国際講座	全学年	24	古澤(国際)
8/26	水 14:25 ~ 15:15	広島県立広島観音高校	模擬授業(国際)	3年生	31	飯島(国際)
			模擬授業(情報)	3年生	15	永山(情報)
9/3	木 14:20 ~ 16:10	広島県立安芸府中高校	模擬授業(情報)	1,2年生	50	石光(情報)
9/3	木 14:30 ~ 16:20	広島県立賀茂高校	模擬授業(情報)	1年生	38	三村(情報)
9/24	木 15:30 ~ 16:20	広島県立高陽高校	模擬授業(国際)	1年生	10	板谷(国際)
9/30	水 14:30 ~ 15:40	広島県立呉宮原高校	模擬授業(国際)	1,2年生	23	武田(国際)
			模擬授業(情報)		21	李(情報)
			模擬授業(芸術)		23	ウォーゼン(芸術)
10/21	水 14:30 ~ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業(情報)	1年生	38	釘宮(情報)
			模擬授業(芸術)		5	青木(芸術)
10/21	水 13:35 ~ 14:25	広島県立五日市高校	模擬授業(情報)	1,2年生	13	岩田(情報)
			模擬授業(情報)		35	川端(情報)
			模擬授業(芸術)		27	吉田(芸術)
10/29	木 14:30 ~ 16:00	広島県立賀茂高校	模擬授業(情報)	2年生	45	小野(情報)
11/4	水 14:25 ~ 15:15	広島県立祇園北高校	模擬授業(情報)	1年生	39	大田(情報)
11/11			水			模擬授業(情報)
11/9	月 15:25 ~ 16:15	広島市立沼田高校	模擬授業(情報)	1,2年生	31	目良(情報)
12/11	金 13:25 ~ 15:15	広島県瀬戸内高校	模擬授業(情報)	1,2年生	47	岩根(情報)
1/20	水 14:25 ~ 16:15	広島県立広島高校	模擬授業(情報)	1年生	240	西(情報)
2/19	金 11:10 ~ 12:10	広島県立祇園北高校	模擬授業(情報)	2年生	37	高野(情報)
3/16	火 13:25 ~ 15:15	呉市立呉高校	模擬授業(情報)	2年生	3	式田(情報)

(4) その他の連携 (2021年4月1日時点)

機関名	締結年月日	内容	備考
株式会社広島銀行	2005年 12月20日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	広島市立大学教育ローンに関する覚書（2007年10月31日締結）
公益財団法人広島 平和文化センター	2008年 9月30日 2019年2月 21日	・相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。） ・包括的連携協力に関する協定（相互の有機的連携等。定期的に連絡調整。）	財団法人広島平和文化センターが所管する「ヒロシマ・ピース・ボランティアを対象とした広島市立大学の授業公開等に係る覚書」（2004年9月30日締結）
広島修道大学	2009年 2月19日	・学生の教育に関すること ・学生の諸活動の支援に関すること ・学術研究に関すること ・地域貢献に関すること ・その他両者が協議して必要と認めること	
広島東洋カープ	2009年 3月10日 2019年 11月8日	国際学部「企業インターンシップ」に関する覚書 全学を対象とした「インターンシップ」に関する覚書	
広島大学	2009年 3月16日	・共同の研究プロジェクト ・教職員の交流 ・学生の交流 ・施設の利用 ・その他必要な事項	
広島市安佐南区	2010年 9月27日	・まちづくりの推進 ・教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進 ・人材の育成 ・その他両者が協議して必要と認める分野	
日本公認会計士協会 中国会	2012年 7月31日	・双方が主催する公開セミナー等への参加 ・本学が開講する会計及び監査関連講座への公認会計士協会の講師派遣 ・定期的な相互情報交換や意見交換	
広島大学、広島工 業大学、広島国際 大学	2012年 9月21日	大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定	臨床情報医工学プログラムの共同実施
長崎大学核兵器廃 絶研究センター	2012年 11月19日	・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する情報の調査、収集及び分析 ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する研究会、シンポジウム等の実施 ・収集、分析及び蓄積した文献、資料、電子情報等の活用 ・研究者の人的交流 ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項	

機関名	締結年月日	内容	備考
横浜市立大学ほか 13校	2014年 4月1日	就職支援パートナーシップ制度における パートナー大学での支援内容 ・就職支援 ・就職関連資料の閲覧 ・就職ラウンジの利用 山梨大学、首都大学東京（現東京都立大 学）の加入（2018年8月1日） 長野県立大学の加入（2019年10月1日） 山梨県立大学の加入（2019年12月1日） 信州大学の脱退（2020年4月1日）	（協定締結大学、本学を含む 全14校） 横浜市立大学、北九州市立 大学、静岡県立大学、兵庫 県立大学、広島市立大学、 大阪市立大学、福井県立大 学、都留文科大学、国際教 養大学、名古屋市立大学、 山梨大学、東京都立大学、 長野県立大学、山梨県立大 学
呉信用金庫	2014年 11月11日	・地域経済・地域企業の活性化に関する事 項 ・中小企業等の新分野進出・新規事業創出 の支援に関する事項 ・中小企業等の技術および経営管理の相談 や共同事業に関する事項 ・その他前条の目的に沿った諸課題に関する 事項	
広島修道大学商学 部	2015年 3月19日	大学連携による新たな教育プログラム開 発・実施事業	代表校：広島修道大学商学 部 連携校：広島市立大学国際 学部
世宗研究所	2016年 2月17日	相互協力に関する協定 ・国際会議の共同開催 ・研究調査及び学術交流 ・研究者の人的交流 ・その他協定の目的を達成するために必要 な事項	
国立ソウル大学校 統一平和研究院	2019年 1月10日	・学術協力及び研究協力 ・学術資料、刊行物等の情報交換における 協力	
特定非営利活動法 人広島横川スポー ツ・カルチャーク ラブ	2019年 3月20日	相互協力に関する協定 ・横川地域における学術・文化・芸術の振 興等 ・横川地域での教職員・学生の活動 ・スポーツクラブの活動等	

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校 (2021年4月1日時点)

計23大学

	国名	締結年月日	主な交流内容
梨花女子大学校	大韓民国	2009年3月4日	教員・学生交流 共同研究等
西京大学校	大韓民国	2005年3月15日	
慶北国立大学校	大韓民国	2020年12月25日	
国際関係学院	中華人民共和国	2008年4月4日	
西南大学	中華人民共和国	2006年11月17日	
上海大学	中華人民共和国	2018年11月30日	
蘇州大学	中華人民共和国	2019年3月20日	
ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	2001年1月11日	
ベルリン・バイセンゼー芸術大学	ドイツ連邦共和国	2005年12月9日	
アラヌス大学	ドイツ連邦共和国	2005年10月12日	
ハノーバー専科大学	ドイツ連邦共和国	1997年5月30日	
ヴァインガルテン教育大学	ドイツ連邦共和国	2017年12月1日	
ベルリン・フンボルト大学 (学部間協定)	ドイツ連邦共和国	2013年9月24日	
オルレアン大学	フランス共和国	2003年6月4日	
レンヌ第2大学	フランス共和国	2011年10月4日	
マレーシア科学大学	マレーシア	2017年12月21日	
シラパコーン大学	タイ	2020年9月25日	
エミリー・カー美術デザイン大学	カナダ	2018年1月15日	
ケベック大学モントリオール校	カナダ	2018年6月4日	
コンコルディア大学	カナダ	2018年6月4日	
ブラッドフォード大学	英国	2018年2月1日	
国連平和大学	コスタリカ共和国	2012年11月6日	
モハメド五世大学	モロッコ王国	2000年12月12日	

(2) 国際交流事業実績 (2020年度)

事業名	日程	内容	人員等
中国・国際関係学院との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している国際関係学院との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
中国・西南大学との学術交流	学生交換 中止 学生短期派遣 中止	学術交流協定を締結している西南大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名 (短期派遣：0名)
中国・上海大学との学生交流	学生交換 中止	学生交流に関する覚書を締結している上海大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
韓国・西京大学校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している西京大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
韓国・梨花女子大学校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している梨花女子大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
韓国・慶北国立大学校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している慶北国立大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
マレーシア・マレーシア科学大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているマレーシア科学大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ハノーバー専科大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名

事業名	日程	内容	人員等
ドイツ・アラヌス大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているアラヌス大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・フンボルト大学との学術交流（学部間）	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているフンボルト大学との学術交流（情報科学部）	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ヴァインガルテン教育大学との学術交流（学部間）	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているヴァインガルテン教育大学との学術交流（国際学部）	学生受入：0名 学生派遣：0名
フランス・オルレアン大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているオルレアン大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
フランス・レンヌ第2大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているレンヌ第2大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているハワイ大学マノア校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
カナダ・エミリー・カー美術デザイン大学との学術交流	学生交換 前期のみ実施	学術交流協定を締結しているエミリー・カー美術デザイン大学との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：2名
語学研修/ハワイ大学英語文化研修	学生派遣 中止	アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校での英語文化研修	学生派遣：0名
語学研修/オルレアン大学短期語学研修	学生派遣 中止	フランス・オルレアン大学での短期語学研修	学生派遣：0名
語学研修/慶北国立大学校サマースクール	学生派遣 中止	韓国・慶北国立大学校での短期語学・文化研修	学生派遣：0名
交流プログラム/米国サンフランシスコ・セント・メアリーズ・カレッジの学生との交流	学生派遣 中止	セント・メアリーズ・カレッジでの授業参加、学生交流やホームステイの実施	学生派遣：0名
交流プログラム/シンガポール・シンガポール国立大学の学生との交流	学生受入 中止 学生派遣 中止	シンガポール国立大学との学生交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
交流プログラム/マレーシア・マレーシア科学大学の学生との交流	学生受入 中止 学生派遣 中止	学術交流協定を締結しているマレーシア科学大学との学生交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
国連平和大学「夏季平和基礎コース」への派遣	学生派遣 中止	学術交流協定を締結している国連平和大学「夏季平和基礎コース」への参加	学生派遣：0名
台湾・国立台中科技大学からの学生受入	学生受入 中止	国立台中科技大学との学生交流	学生受入：0名
韓国・慶北国立大学校からの学生受入れ	学生受入 中止	学術交流協定を締結している慶北国立大学校との学生交流	学生受入：0名
夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE 2020」の開催	中止	戦争と平和の本質を理解し、同時にグローバル化の時代における世界平和に関するより現代的な問題を探求することを目的に、国内外の大学生を対象として夏期集中講座を開催する。	国内外（学外）からの学生受入：0名

(3) オンラインプログラムの実績（2020年度）

国名	事業名	参加人数
大韓民国	慶北国立大学校とのオンライン交流	19名（20）
タイ	シラパコーン大学とのオンライン交流	12名（23）
シンガポール	シンガポール国立大学とのオンライン交流	15名（32）
インドネシア	ハサヌディン大学オンラインプログラム	4名
ドイツ	ハノーバー専科大学第4学部ICMプログラム	2名
アメリカ	セント・メアリーズ・カレッジとのオンライン交流	20名（15）
コスタリカ	国連平和大学オンライン平和学基礎コース	3名

※（ ）内は相手大学の参加学生数